

純増加契約	年始支拂備金	年始責任準備金	年始保險契約利益(剩餘金)配當準備金	收入保險料	收入諸利息	支拂保險金	支拂保險契約利益(剩餘金)配當金	保險金額及利益(剩餘金)配當金ノ外保險契約ニ因リテ支拂ヒタル金額	事業費	年末支拂備金	年末責任準備金	年末保險契約利益(剩餘金)配當準備金

備考

- 一 保險ノ種類ハ死亡(生死混合保險ヲ含ム)生存、徴兵等ニ分チテ之ヲ記載スルコトヲ要ス但シ年金ノ給付ヲ約シタルモノニ付テハ別ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス
- 二 本表ハ生命保險契約ヲ再保險ニ附シタル場合ニ於テモ之ヲ控除セスシテ記載スルコトヲ要ス
- 三 生命保險ノ再保險ヲ引受ケタル場合ニハ別ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス
- 四 新契約ニハ保險契約ノ復活シタルモノヲ算入スヘカラス第一號附錄第三及同第四亦同シ
- 五 其ノ他ノ増加中保險金額ノ増加ニ止マルモノノ件數ハ相當欄ニ括弧ヲ附シテ之ヲ示スコトヲ要ス
- 六 年金保險ノ金額ニハ最近ニ支拂フヘキ一年分ノ給付額ヲ記載スルコトヲ要ス以下各表皆同シ
- 七 事項ニ依リ概數ヲモ知ルコト能ハサルモノアルトキハ其ノ各欄内ニハ單ニ縱線ヲ施スコトヲ要ス
- 八 本表ニ記載スヘキ件數ハ本令施行後開始スヘキ事業年度ノ始ヨリ起算シ二年間ニ限り被保險者數ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ件數ヲ被保險者數ト改ムルコトヲ要ス

第一號附錄第二

、保險契約種類別統計表

年始現在契約	利益配當附計			利益配當無計			合計
	終身保險	養老保險	定期保險	終身保險	養老保險	定期保險	
數件	數件	數件	數件	數件	數件	數件	數件
金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額

申 込	内 約 成 立	拒 約 不 成 立	申 込 絶 對 未 了	復 活 ニ 因 ル 増 加	累 加 變 更 ニ 因 ル 増 加	其 ノ 他 ノ 事 由 ニ 因 ル 増 加	被 保 險 者 ノ 死 亡	保 險 期 間 ノ 満 了	解 約 ニ 因 ル 消 滅	保 險 料 ノ 不 拂 ニ 因 ル 消 滅	其 ノ 他 ノ 事 由 ニ 因 ル 消 滅	遞 減 變 更 ニ 因 ル 減 少	年 末 現 在 契 約

備考

一 本表ハ死亡、生存、年金、徴兵等ノ各種類毎ニ之ヲ作ルコトヲ要ス以下第一號附錄第六ニ至ルマ

- テ皆同シ
- 二 死亡保險ニ在リテハ終身、養老、定期保險等ニ分ツコトヲ要ス
- 三 同一種類ニシテ責任準備金算出ノ基礎ニ用ウル死亡表又ハ豫定利率ヲ異ニスルモノアルトキハ其ノ種類ヲ區別シテ記載スルコトヲ要ス
- 四 名稱ノ如何ニ拘ラス一人ノ生命ニ對スル終身死亡保險ハ終身保險欄ニ生死混合保險ハ養老保險欄ニ掲記スルコトヲ要ス
- 五 申込ノ數ニハ前年度ニ於ケル申込ニシテ處分ノ終ラサルモノヲ加フルコトヲ要ス
- 六 再保險ニ附シタルモノアルトキハ其ノ件數、金額ヲ各相當欄ノ左側ニ附記スルコトヲ要ス
- 七 再保險ヲ引受ケタルモノニ付テハ其ノ主タル性質ニ依リ本表ニ準シテ各種類毎ニ之ヲ作ルコトヲ要ス

第一號附錄第三

、保險被保險者保險金額別統計表

金 額	新契約		死亡		満了		其他ノ事由ニ因ル消滅		年末現在	
	者 數	金額	者 數	金額	者 數	金額	者 數	金額	者 數	金額
二 百 圓 以 下										
一 百 圓 以 下										

山	和歌山	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	沖縄	臺灣

第一號附錄第五

備考 本表中ニ記載スヘキ人員ハ件數ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ人員ヲ件數ト改ムルコトヲ要ス

、、保險男(女)被保險者死亡數比較統計表

生	年	年		實		經		豫		實	
		始	末	際	過	定	際	際	際	際	際
人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額

備考 消滅及減少ニハ保險期間ノ滿了ニ因ルモノヲ算入スヘカラス

第一號附錄第七

死亡保險男(女)被保險者年齡別死因統計表

死因	人員			合計	死亡者總數ニ對スル百分率
	十歲以下	以十五歲下	以二十歲下		
腸室扶斯					
ハラチフス					
麻刺利亞					
流行性感冒					
虎列刺					
赤痢					
肺結核					
腸結核					
以上五年毎二分 ツコトヲ要ス 十歲毎二分ツ					
合計					

其ノ他ノ臟器ノ結核	梅毒	其ノ他ノ傳染病	食道支癌	胃支癌	子宮癌	其ノ他ノ臟器ノ癌	癌以外ノ惡性新生物	脚氣	糖尿、病	其ノ他ノ全身病	腦膜炎	腦溢血	麻痺狂

備考

- 一 保險ノ種類ハ火災、海上、運送、信用等ニ分ツコトヲ要ス
- 二 火災保險ニ在リテハ新契約ニハ日歩契約ニ屬スルモノヲ區別シ其ノ金額ハ日々ノ保險金額ヲ累計シタルモノヲ記載スルコトヲ要ス
- 三 本表ニハ再保險ニ附シタル保險金額及保險料ヲ控除シテ記載スルコトヲ要ス
- 四 事項ノ性質ニ依リ正確ナル數ヲ知り得サルモノアルトキハ其ノ概數ヲ記載スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ其ノ旨ヲ備考トシテ説明スルコトヲ要ス

第一號附錄第十一

、保險契約種類別統計表

年 始 再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	新 契 約	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	不 動 產		動 產		計		日 步 契 約	
						件 數	金 額	件 數	金 額	件 數	金 額	件 數	金 額

消 滅 セ サ ル モ ノ	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	其 他 ノ 事 由 ニ 因 リ テ 消 滅 シ タ ル 契 約	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ	再 保 險 ニ 附 シ タ ル モ ノ

備考

- 一 保險ノ種類ハ火災保險ニ在リテハ不動産、動産、日歩契約ニ分チ海上保險ニ在リテハ定時、航海ニ分チ更ニ航海ヲ船舶ト貨物トニ分ツコトヲ要ス
- 二 消滅セサルモノノ金額ニハ保險金ノ一部ヲ支拂フヘキ事由ノ發生シタル契約ノ殘存責任額ヲ記載スルコトヲ要ス
- 三 火災保險ニ在リテ動産ノ欄ニハ日歩契約ニ屬スルモノヲ算入スヘカラス
- 四 火災保險ニ在リテ日歩契約ノ新契約及其他ノ事由ニ因リテ消滅シタル契約金額ニハ日々ノ保險金額ヲ累計シ件數ニハ事業年度内ニ於テ新ニ契約シタルモノ及消滅シタルモノノ件數ヲ別ニ括弧ヲ附シテ件數ノ左側ニ記載スルコトヲ要ス
- 五 火災、海上、運送以外ノ損害保險ニ在リテハ件數ノ外保險ノ目的又ハ之ニ準スヘキモノノ數ヲ記載スルコトヲ要ス

年月日財産目録

、、、、會社

未拂込株金又ハ未拂込基金					
現金					
郵便振替貯金					
銀行預金					
定期預金 (平均利率年)					
外幾銀行					
外幾銀行					
當座預金 (平均利率年)					
外幾銀行					
信託					
外幾銀行					
運用方法ノ特定セル金錢信託 (平均豫算利率年)					
信託會社					

外幾信託會社					
運用方法ノ指定アル金錢信託 (平均豫算利率年)					
信託會社					
外幾信託會社					
運用方法ノ特定及指定ナキ金錢信託 (平均豫算利率年)					
信託會社					
外幾信託會社					
金錢信託以外ノ金錢信託 (平均豫算利率年)					
信託會社					
外幾信託會社					
信託金錢債權 (平均豫算利率年)					
信託會社					
外幾信託會社					
付金 (附録甲)					
不動産抵當 (平均利率年)					

四 本表ハ國債證券(內國債、外國債ニ分ツ)地方債證券、社債券、株券別ニ小計ヲ附スルコトヲ要ス
 第三號附錄乙ノ二

信託有價證券明細表

一 表示有價證券信託

種類	債權額		單價ノ標準	單價	利率又ハ配當率	收益配當率ノ概算	期限	摘要
	數又ハ株數	價額						
合計								
二 運用有價證券信託								
種類	債權額		單價ノ標準	單價	利率又ハ配當率	收益配當率ノ概算	期限	摘要
	數又ハ株數	價額	一債權額又ハ一株ノ金額 拂込額			二債權一〇〇 年見込算利一〇		
合計								

備考

- 一 信託會社名ヲ摘要欄ニ記載スルコトヲ要ス
 - 二 一年間豫算利益見込額ハ租税及諸費用ヲ控除セサルコトヲ要ス
 - 三 其ノ他前表ノ備考ニ準シ記載スルコトヲ要ス
- 第二號附錄丙

不動産明細表

所在及種類	用法	構造	坪數	價額	一年間豫算		摘要
					利益	租税及諸費用ノ概算	
、、、、所在宅地 、、、、所在建物 、、、、							
合計							

備考

- 一 不動産ヲ會社自ラ使用スル場合ニハ營業税法課税標準タル賃貸價格ニ準シ豫算利益ヲ計上スルコトヲ要ス
- 二 一年間豫算利益ハ租税及諸費用ヲ控除セサルコトヲ要ス
- 三 不動産ノ上ニ設定セラルタル物權アルトキハ其ノ權利ヲ摘要欄ニ記載スルコトヲ要ス

第四號

自年月日 損益計算書	
收入	支出
前年度ヨリ繰越金	前年度ヨリ繰越損失又ハ不足
利益又ハ剩餘金	再保險料
責任準備金	保險金額
保險契約利益(剩餘金)配當準備金	解約返戻金
支拂備金	其ノ他返戻金
保險料	保險契約利益(剩餘金)配當金
保險契約ニ關スル雜收入	稅金
再保險ヲ附シタルニ因ル收入	所有財產ニ對スルモノ
再保險金額	印紙稅
再保險手数料	其ノ他
再保險返戻金	事業費
其ノ他	社費
	代理店手数料
	會社

諸利息	
預金利息	紹介手数料
金錢信託收益	醫師報酬
金錢信託以外ノ金錢ノ信託收益	財產賣却損
信託金錢債權收益	有價證券
貸付金利息	信託有價證券
有價證券利息及配當	不動產
信託有價證券利息配當及收益	信託不動產
不動產收益	其ノ他
信託不動產收益	財產評價損
財產賣却益	有價證券
有價證券	信託有價證券
信託有價證券	不動產
不動產	信託不動產
信託不動產	什器
其ノ他	財產評價益
財產評價益	有價證券
有價證券	信託有價證券
	不動產
	信託不動產
	其ノ他

- 二 新契約及其ノ他ノ増加ニハ新契約、繼續又ハ復活シタル契約、保險金額ノ累加變更、其ノ他ノ事由ニ因ル増加ヲ算入スルコトヲ要ス
- 三 消滅契約及其ノ他ノ減少ニハ保險金支拂ノ事由發生ニ因リテ消滅シタル契約、保險契約ノ解除、失効、保險期間ノ満了、保險金額ノ遞減、變更其ノ他ノ事由ニ因ル消滅及減少ヲ算入スルコトヲ要ス
- 四 保險金額ニ増減アルモ件數ニ異動ヲ及ボササルモノニ付テハ其ノ件數ハ相當欄ニ括弧ヲ附シテ之ヲ示スコトヲ要ス
- 五 事項ノ性質ニ因リ正確ナル數ヲ知り得サルモノアルトキハ其ノ概數ヲ記載スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ備考トシテ説明スルコトヲ要ス

第七號

「尋常修身保險解約價額」表

(保險金額一〇〇ニ對スル額)

經過年數	一	二	三	四	五	六	七	八
契約締結ノ時ニ於ケル被保險者ノ年齢	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇
八	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
七	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
六	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
五	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
四	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
三	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
二	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
一	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

●保險業法施行規則

明治三十三年七月二日 農商務省令第十五號

(大正元年保險業法施行規則ノ施行ト同時ニ廢止)

- 第一條 保險會社ノ發起人ハ發起ノ認可ヲ申請スルコトヲ要ス
- 前項ノ申請ヲ爲スニハ申請書ニ保險業法第五條及ヒ第六條ニ定メタル書類ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第二條 發起認可ノ申請ハ株主又ハ社員ヲ募集スル場合ニ於テハ其募集前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 第三條 保險事業免許ノ申請ハ總取締役及ヒ總監査役ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 申請書ニハ保險業法第五條及ヒ第六條ニ掲ケタル書類ノ外非訟事件手續法第八十七條第二項第二號乃至第六號及ヒ第九號ニ掲ケタル書類又ハ保險業法第八十四條第二項第二號第三號及ヒ第五號ニ掲ケタル書類ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第四條 保險會社カ保險業法第八條ノ規定ニ依リ書類ノ變更ノ認可申請ヲ爲スニハ申請書ニ理由書ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第五條 保險會社カ商法又ハ保險業法ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記シタル事項及ヒ其登記ノ年月日ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス
- 但社員名簿ニ爲シタル記載ハ此限ニアラス
- 第六條 保險會社ハ保險證券並ニ保險申込書ノ雛形及廣告ノ目的ヲ以テ調製シタル印刷物ヲ各一部宛農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス
- 第七條 保險證券ニハ保險約款ノ全文ヲ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第八條 生命保險會社ハ保險業法第七條第六號及ヒ第七號ニ定メタル權利ノ範圍ニ付當事者ニ拂渡スヘキ金額其標準若ハ第十三號書式ニ準シ其金額ヲ推知スルニ足ルヘキ表ヲ保險證券ニ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ保險證券ニ添付スルコトヲ要ス
- 保險證券ニ對シ貸付ヲ爲スヘキ事又ハ將來ノ保險料ノ拂込ノ免除ノ爲ニ保險金額ヲ減少スヘキコトヲ定メタルトキ亦同シ
- 第九條 保險會社カ其財産ヲ利用スルニハ左ニ掲ケタル各方法ニ付其五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス
 - 一 無擔保貸付ヲ爲スコト

- 二 同一人ニ貸付又ハ預金ヲ爲シ又ハ同一人ヲ保證人トシテ貸付ヲ爲スコト
 - 三 同一會社ノ債券若ハ債券ヲ取得シ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
 - 四 同一物件ヲ取得シ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
- 前項第二號及第三號ニ掲ケタル方法ニ依リテ利用シタル金額ハ之ヲ通算ス
- 第十條** 事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役及ヒ監査役之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス
- 一 事業年度ニ於ケル定款又ハ普通保險約款ノ變更其他重要ナル事件
 - 二 事業ノ成績(第一號書式ニ準ス)
 - 三 生命保險及火災保險ニ在リテハ統計(生命保險ニアリテハ第二號乃至第七號書式火災保險ニ在リテハ第八號書式ニ準ス)
- 第十一條** 財産目録、貸借對照表、損益計算書及基金ノ償却、其利息ノ支拂、準備金並利益又ハ剩餘金ノ配當ニ關スル決議書ハ第九號乃至第十二號書式ニ準

- シテ之ヲ作ルコトヲ要ス
- 第十二條** 財産目録ノ一項目中ニ價額壹千圓以上ノモノアルトキハ其項目ノ内譯トシテ之ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第十三條** 財産目録及ヒ貸借對照表ノ未收保險料中ニハ次ノ事業年度ニ於テ收入スヘキ保險料ヲ算入スヘカラス
- 第十四條** 保險會社ハ支拂備金トシテ左ノ金額ヲ積立ツルコトヲ要ス
- 一 事業年度ニ於テ保險金額又ハ拂戻金ノ支拂ヲ爲スヘキ場合ニ於テ未タ其支拂ヲ爲ササルトキハ其金額
 - 二 事業年度ニ於テ生シタル事故ノ爲ニ保險金額又ハ拂戻金ノ支拂ヲ爲スヘキコトアリト認ムルトキハ其支拂ヲ爲スニ相當ナル金額
- 第十五條** 生命保險會社ノ責任準備金ハ保險料積立金及ヒ未經過保險料ニ區別スルコトヲ要ス
- 第十六條** 生命保險會社カ純保險料式ニ依リテ保險料積立金ヲ算出セサルトキハ貸借對照表中責任準備金

- ノ下ニ純保險料式ニ依リテ算出シタル金額ヲ附記シ之ヲ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス
- 第十七條** 生命保險會社ノ未經過保險料ハ個個ノ契約ニ付キ之ヲ計算セサルトキハ其事業年度ニ收入シタル保險料ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
- 第十八條** 損害保險會社ノ責任準備金ハ事業年度ニ於テ收入シタル保險料(再保險者ニ支拂ヒタル保險料ヲ控除ス)中ヨリ其年度ニ於テ保險料ヲ收入シタル契約ノ爲ニ支拂ヒタル保險金額(再保險者ヨリ得タル保險金額ヲ控除ス)其契約ノ爲ニ積立ツヘキ支拂備金及ヒ其年度ノ營業費ヲ控除シタル殘額ヲ下ルコトヲ得ス
- 第十九條** 損害保險會社カ危險ノ發生セサル場合ニ於テ保險料ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スヘキ契約ヲ爲ストキハ事業年度ニ收入シタル保險料中ヨリ先ツ拂戻ニ充ツヘキ部分ヲ控除シ其殘額ニ付前條ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス
- 會社ノ責任準備金ハ拂戻積立金ノ總額及前條ノ計算ニ依リテ生シタル殘額ノ合計額ヲ下ルコトヲ得ス

- 第二十條** 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル責任準備金カ保險契約ノ未經過期間ニ對シ不足ナルトキハ會社ハ相當ノ増額ヲ爲スコトヲ要ス
- 第二十一條** 責任準備金算出ノ爲ニ用キタル統計表、計算表其他算出ノ基礎及ヒ順序ヲ知ルニ必要ナル材料ハ次回ノ責任準備金算出ヲ結了スルマテ之ヲ保存スルコトヲ要ス
- 第二十二條** 任意ノ解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議錄、財産目録、貸借對照表及ヒ保險契約ノ整理ニ關スル案ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第二十三條** 合併ノ認可申請書ニハ保險業法第七十四條ニ掲ケタル書類ノ外理由書、總會ノ決議錄及ヒ合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ノ定款ヲ添付スルコトヲ要ス
- 合併ノ認可アリタル後六箇月内ニ合併ノ手續ニ着手セサルトキハ認可ハ其效力ヲ失フ
- 第二十四條** 保險會社ノ發起人又ハ保險會社カ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ本店又ハ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

、保險契約金額別統計表

金額	新契約		被保險者ノ死亡シタルモノ		保險期間ノ満了シタルモノ		其他ノ事由ニ因リテ消滅シタルモノ		年末現在	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
壹百圓以下										
貳百圓以下										
參百圓以下										
五百圓以下										
壹千圓以下										
貳千圓以下										
五千圓以下										
五千圓ヲ超ユルモノ										
合計										

備考 年金保險ニ在リテハ金額ノ階級ヲ各十分ノ一ニ改ムルコトヲ要ス
「壹百圓以下」ニハ壹百圓ヲ含ム以下之ニ準ス

、保險被保險者現在地方別統計表

地方	新契約		被保險者ノ死亡シタルモノ		保險期間ノ満了シタルモノ		其他ノ事由ニ因リテ消滅シタルモノ		年末現在	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
北海道										
東北府										
東京府										
京都府										
大阪府										
神奈川縣										
、縣										
、縣										
、縣										
沖繩縣										
臺灣										

第五號

生年	在年		死亡實際數	經過契約		豫定	
	人員	金額		人員	金額	人員	金額
明治十年							
明治九年							
明治八年							
合計							

、保險被保險者死亡數比較統計表

備考 二種ノ死亡表ヲ用ユルモノハ各別ニ本表ヲ作ルコトヲ要ス
「經過契約」トハ「年始現在契約」、「年末現在契約」及ヒ「實際死亡數」ノ和ヲ二分シタルモノヲ謂フ

實際死亡數ノ豫定死亡數ニ對スル比

合計							
----	--	--	--	--	--	--	--

第六號

、保險契約經過年數別統計表

經過年數	死亡		解約		年末現在	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一						
二						
三						
五						
十						
十五年以下						
合計						

保險業法施行規則

其他幾口(、、、、、)

有價證券(附錄乙)(平均豫算利率年

不動産(附錄丙)(平均豫算利率年

什器

未收利息

未收保險料

支店出張所代理店貸

假拂金

合計

負債

株金又ハ基金

保險業法第六十條積立金

法定準備金

責任準備金(附錄丁)

支拂備金

支店出張所代理店備

合計

右ノ通相違無之候也

明治 年 月 日

取締役

會社ノ帳簿及ヒ財産ヲ調査シ前記ノ通相違無之ト相認候也

明治 年 月 日

監査役

第九號附錄甲

貸付金明細表

借主ノ氏名又ハ 證書ノ番號	金 額	利 率(年)	償 還 方 法	擔 保
合 計				

備考 一口參千圓未満ノ貸付金ハ財産目録中「貸付金」ノ内譯ニ從ヒ其總額ヲ記載スルコトヲ得

保險業法施行規則

年未保險料積立金	
年未責任準備金	

第九號附錄丁ノ二(損害保險)

責任準備金參考表

本年度ニ於テ收入シタル保險料

内

拂戻ニ充ツヘキ部分

本年度ニ保險料ヲ收入シタル契約ノ爲メニ支拂ヒタル保險金額

本年度ニ保險料ヲ收入シタル契約ノ爲メニ積立タル支拂備金

營業費

差引

外ニ

拂戻積立金

明治年月日 満期契約ニ屬スル拂戻金、ニ對シ

明治年月日 満期契約ニ屬スル拂戻金、ニ對シ

合計

明治年月日 貸借對照表

資産

未拂込株金又ハ未拂込基金

現金

銀行預金

貸付金

有價証券

不動産

什器

未收利息

未收保險料

支店 出張所、代理店貸

假拂金

未償却設立費用及營業費(附錄甲)

保險業法第九條未填補不足額

(附錄乙)

負債

株金又ハ基金

保險業法第六十條積立金

法定準備金

責任準備金

支拂備金

支店、出張所、代理店借

、、、、、

、、、、、

利益又ハ剩餘金

會社ノ商號

保險業法施行規則

利益又ハ剩餘金	再保險料
責任準備金	保險金額
支拂備金	解約返戻金
保險料	其他返戻金
再保險金額	營業費
諸利息	社費
財產賣却益	代理店手数料
財產評價益	紹介手数料
	醫師報酬
	財產賣却損
	財產評價損
	次年度繰越金
	責任準備金
	支拂備金

合計
 差引利益又ハ損失(剩餘金又ハ不足)
 右之通相違無之候也

明治 年 月 日
 取締役

明治 年 月 日
 監査役

第十二號

自明治 年 月 日 年度
 至明治 年 月 日 年度
 法定準備金
 利益又ハ剩餘金ノ配當基
 (會社ノ商號)

利益又ハ剩餘金
 之ヲ處分スルコト左ノ如シ
 法定準備金
 保險業法第六十條積立金

保險業法施行規則

ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ報告スヘシ

- 一 登記ヲ受ケタル時ハ其事項及ヒ登記ノ年月日
- 二 第一條第二項ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ其事項及其變更ノ年月日
- 三 毎事業年度ノ收支一覽表、財産目錄、貸借對照表、事業並ニ其成果ノ報告書及ヒ支出殘金目録ノ處分法
- 四 商法第六百九十條ノ規定ニ從ヒテ證券ヲ裁判所ニ寄託シタルトキハ其額裁判所及ヒ寄託ノ年月日
- 五、代辦人ヲ以テ保險契約ヲ取締ルトキハ其氏名及ヒ其營業所所在地

第四條 地方長官ハ保險營業者ノ行爲ガ法令ニ違反シ又ハ業務ノ安全ヲ缺キ若クハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ速カニ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第五條 明治三十一年七月一日前ヨリ保險業ヲ營ムモノハ左ノ事項ヲ詳具シ明治三十一年九月三十日マテニ營業所所在地ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ届出ツヘシ但株式会社ニ在リテハ第一號及ヒ第三號

二掲ケタル事項ハ届出ツルコトヲ要セス

- 一 登記シタル事項及ヒ其登記ノ年月日
- 二 第一條第二項甲號乙號ニ定メタル事項及ヒ會社契約(定款)
- 三、前事業年度ニ於ケル收支一覽表貸借對照表及ヒ財産目錄
- 四 代辦人ノ氏名及ヒ其營業所ノ所在地

◎保險會社ニ關スル

細則

明治三十二年六月 農商務省令第十一號

施行 明治三十二年六月十六日

廢止 明治三十三年農商務省令第十五號 附則ニ依ル

第一條 保險會社ノ發起人又ハ保險會社ガ政府ニ差出す書類ハ本店所在地ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ差出すコトヲ要ス

前項ノ書類ハ強靱ナル美濃列大ノ紙料ヲ用ユルコトヲ要ス但印刷物ハ此限ニ在ラス

第二條 保險會社ガ商法施行法第九十九條ノ規定ニ依リ書類變更ノ認可ヲ申請スルトキハ其申請書ニ理由書ヲ添附スルコトヲ要ス

第三條 保險會社ガ商法ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記シタル事項及ヒ其登記ノ年月日ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス

保險會社ニ關スル細則

第四條 二類以上ノ保險ヲ營業トスル會社ニ在リテハ各類ニ付收支計算書ヲ作ルコトヲ要ス

第五條 生命保險ヲ營業トスル會社ニ在リテハ其收入保險及ヒ責任準備金ハ保險契約ノ種類ニ從ヒテ之ヲ計算スルコトヲ要ス

第六條 責任準備金算出ノ爲メニ用ヒタル統計表、計算表、其他算出ノ基礎及ヒ順序ヲ知ルニ必要ナル材料ハ次回ノ責任準備金算出ヲ結了スルマテ之ヲ保存スルコトヲ要ス

第七條 保險會社ハ次ノ一年間ニ各財産ヨリ生スヘキ利益ノ豫算額及ヒ其利益ト財産ノ價格トノ比例ヲ財産目錄ニ記載スルコトヲ要ス

券面額ヲ記載シタル有價證券ニ付テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外其券面額及ヒ拂込金額ヲ記載スルコトヲ要ス

第八條 保險會社ノ計算項目ニシテ外國ノ貨幣ヲ以テ價格ヲ示スモノハ日本ノ貨幣ニ換算スルコトヲ要ス前項ノ換算ハ大藏大臣ノ告示スル内外貨幣比較表ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九條 保險會社ハ第一號書式ニ依リ營業成績一覽表ヲ作りテ之ヲ營業報告書ニ添附スルコトヲ要ス

第十條 生命保險ヲ營業トスル會社ハ營業成績一覽表ノ外第二號乃至第七號ノ書式ニ依リ統計表ヲ作ルコトヲ要ス

前項ノ統計表ハ統計年度ノ末日ヨリ起算シテ六箇月内ニ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

第十一條 二類以上ノ保險ヲ營業トスル會社ニ在リテハ各類ニ付キ營業成績一覽表及ヒ統計表ヲ作ルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ死亡保險年金保險及ヒ生存保險ノ中二種以上ヲ兼テ營業シ生命保險會社ニ之ヲ準用ス

第十二條 保險契約ノ性質ニ因リ本則ニ定メタル書式ニ依ルコト能ハサルトキハ豫メ書式ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第十三條 保險會社ハ保險證券並ニ保險申込書ノ雛形及ヒ廣告ノ目的ヲ以テ調製スル印刷物ヲ各一部ツツ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

第十四條 合併ノ認可申請書ニハ總會ノ決議錄及債權

者カ期間内ニ異議ヲ述ヘサリシ旨並ニ異議ヲ述ヘタル債權者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタル旨ヲ證スル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第十五條 解散ノ認可申請書ニハ總會ノ決議錄及保險契約ノ整理ニ關スル案ヲ添附スルコトヲ要ス

第十六條 保險會社カ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ニシテ日本語ヲ以テ認メサルモノハ之ニ其譯文ヲ添付スルコトヲ要ス

第十七條 前十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合名會社、合資會社又ハ株式會社ニシテ保險ヲ營業トスルモノニ之ヲ準用ス

第十八條 外國會社カ日本ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營メントスルトキハ營業ノ認可申請書ニ其最終ノ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ添付スルコトヲ要ス

第十九條 第四條乃至第六條及ヒ第八條乃至第十三條ノ規定ハ外國會社ノ日本ニ於ケル保險事業ニ付キ之ヲ準用ス

第二十條 第一條乃至第三條及ヒ第十六條ノ規定ハ外

國會社ニ之ヲ準用ス

第二十一條 商法施行前ニ日本ニ支店ヲ設ケタル外國會社又ハ外國人カ日本ニ於テ設立シタル會社カ明治三十二年勅令第二百七十二號第一條第一項又ハ第二條第一項ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記シタル事項及ヒ其登記ノ年月日ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス

書式(書式中ニ記載スヘキ件數ハ生命保險ニ限り被保險者ノ數ヲ以テ之レニ代フルコトヲ妨ケス)

第一號

第二十二條 第十八條乃至第二十條ノ規定ハ商法施行前ニ日本ニ支店又ハ代理店ヲ設ケタル外國會社ニ之ヲ準用ス

附則

第二十三條 本則ハ商法施行法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス明治三十一年農商務省令第五號ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第何回營業年度	自		至		件數	金額
	明治	年	月	日		
年始現在契約						
契約ノ申込	承	取	履	解		
契約ノ消滅	其	他	ノ	事		
年末現在契約						

死亡保險契約種別統計表

種 類	年始現在		締 結		消 行		減 除		年 末 現 在	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
終身保險										
養老保險										
合 計										

何々保險契約金額別統計表

金 額	年始現在		締 結		消 行		減 除		年 末 現 在	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
一百圓未満										
二百圓未満										
三百圓未満										
五百圓未満										
一千圓未満										
二千圓未満										
五千圓以上										
「年金保險 ニ在リテハ 本欄ノ金額 ヲ十圓毎ニ 區分スヘシ」										
合 計										

第六號

府縣	何々保險被保險者現住府縣別統計表								
	年 始 現 在	結 算							
件數	金額	消 行							
			解 除						
件數	金額	其 他 事 由							
			減						
件數	金額	年 末 現 在							
			金額						
北海道									
東 京									
大 阪									
神 奈 川									
合 計									

第七號

年 齡	何々保險被保險者死亡數比較統計表						
	豫 定 數	發 生 數					
件數	金額	件數					
			金額				
件數	金額	件數					
			金 額				
三三							
三三							
一〇							
合 計							

外國保險會社ニ關スル件

明治三十三年九月二十七日
勅令第三百八十號

施行 明治三十三年十一月十五日

改正 (一) 大正元年十二月二十
六日勅令第五十七號

第一條 外國人又ハ外國會社ハ日本ニ支店、事務所又ハ代理店ヲ設ケ主務官廳ノ免許ヲ受ケルニ非サレハ保險事業ヲ營ムコトヲ得ス

第二條 外國會社カ日本ニ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ムトキハ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムルコトヲ要ス

商法第六十二條ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス
*註 明三勅令三八〇「第一條」

第二條 外國會社ハ其日本ニ於ケル事業ノ本據及ヒ代表者ノ氏名、住所ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス
前條第一項ノ代表者ニ付キ前項ノ届出アリタルトキ

ハ主務官廳ハ其氏名、住所ヲ公告スルコトヲ要ス

第二條ノ二 外國會社ノ代表者ハ退任ノ後ト雖之ニ代ハルヘキ代表者ノ氏名、住所ニ付キ商法第二百五十五條ノ登記及ヒ公告又ハ前條第二項ノ公告アル迄仍代表者ノ權利義務ヲ有ス

第三條 外國會社カ免許ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

- 一 定款
- 二 日本ニ於ケル事業ノ方法書
- 三 普通保險約款
- 四 保險料及責任準備金算出ノ基礎ニ關スル書類
- 五 最終ノ財産目錄、貸借對照表及ヒ損益計算書
- 六 財産ノ利用方法ヲ記載シタル書類

前項第一號乃至第四號及ヒ第六號ニ掲ケタル書類ノ變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ其效力ヲ生セス

第三條ノ二 外國會社カ解散シ又ハ日本ニ於ケル事業ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第四條 外國會社カ主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキハ主務官廳ハ其日本ニ於ケル事業ノ停止若クハ代表者ノ改任ヲ命シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

第五條 外國會社ハ生命保險ヲ目的トスルモノニ在リテハ十五萬圓、損害保險ヲ目的トスルモノニ在リテハ十萬圓ノ金額ヲ供託スルニ非サレハ其事業ヲ開始スルコトヲ得ス

外國會社ハ生命保險ヲ目的トスルモノニ在リテハ各事業年度ノ終ニ於テ計算シタル責任準備金額ノ十分ノ六ニ相當スル金額、損害保險ヲ目的トスルモノニ在リテハ各事業年度ニ於テ收入シタル保險料ヨリ日本ニ於テ支拂ヒタル再保險料ヲ控除シタル殘額ノ十分ノ五ニ相當スル金額カ會社ノ既ニ供託シタル金額ヲ超ユルトキハ差額ヲ次ノ事業年度開始後六箇月内ニ供託スルコトヲ要ス其金額カ既ニ供託シタル金額ニ達セサルトキハ供託金カ第一項ノ金額ヲ下ラサル限度ニ於テ差額ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

外國會社ハ主務官廳ノ認許シタル有價證券ヲ以テ前二項ノ供託金ニ代フルコトヲ得

外國保險會社ニ關スル件

*註 明三勅令三八〇「第五條」主務官廳ハ必要ト認ムルトキハ外國會社ヲシテ相當ノ金額ヲ供託セシムルコトヲ得

外國會社カ供託ヲ命セラレタル場合ニ於テハ主務官廳ノ認可シタル有價證券ヲ以テ其金額ニ代フルコトヲ得

第六條 日本ニ於ケル保險契約者、被保險者、保險金額ヲ受取ルヘキ者又ハ外國相互會社ノ社員ハ供託物ノ上ニ優先權ヲ有ス

日本ニ於ケル一般ノ債權者ハ外國ニ於ケル保險契約者、被保險者、保險金額ヲ受取ルヘキ者、外國相互會社ノ社員及ヒ一般ノ債權者ニ對シ供託物ノ上ニ優先權ヲ有ス

第七條 外國相互會社ノ日本ニ於ケル一般ノ債權者ハ日本ニ於ケル社員並ニ其爲シタル契約ニ因ル被保險者及ヒ保險金額ヲ受取ルヘキ者ニ對シ供託物ノ上ニ優先權ヲ有ス

*註 明三勅令三八〇「第七條」外國相互會社ノ日本ニ於ケル一般ノ債權者ハ社員及ヒ外國ニ於ケル債權者ニ對シ供託物ノ上ニ優先權ヲ有ス

第七條ノ二 外國會社ハ契約ヲ以テ責任準備金算出ノ基礎ヲ同シクスル日本ニ於ケル保險契約ノ全部ヲ包

括シテ日本ニ於テ事業ヲ營ム他ノ保險會社ニ移轉スルコトヲ得

保險業法第二十條ノ二第二項、第三項、第二十條ノ三乃至第二十條ノ五、第二十條ノ八及ヒ第二十條ノ九ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但第二十條ノ五中株主總會ノ決議アリタル時トアルハ移轉契約書作成ノ時第二十條ノ九第二項中第二十條ノ二第三項ノ決議ノ後トアルハ移轉契約書作成ノ後トス

前項ニ掲ケタル規定中總會ノ決議及ヒ其決議録ニ關スル規定ハ外國會社ニ付テハ之ヲ準用セス

第七條ノ三 外國會社カ日本ニ於ケル保險契約全部ノ移轉ヲ爲シタルトキハ其事業ヲ廢止シタルモノト看做ス

第八條 外國會社ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ其日本ニ於ケル事業ノ報告書ヲ作り「遲滞ナク」之ヲ主務官ニ提出スルコトヲ要ス

外國會社ハ前項ノ時期ニ於テ日本ニ於ケル保險契約ニ付キ其種類ニ從ヒ責任準備金ヲ計算シ且之ヲ特ニ設ケタル帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第九條 外國會社ノ本國ニ於テ作りタル財産目錄、貸借對照表、事業報告書及ヒ損益計算書ハ遲滞ナク之ヲ主務官ニ提出スルコトヲ要ス

第十條 外國會社ノ代表者ハ定款、日本ニ於ケル社員ノ名簿及ヒ前二項ニ掲ケタル書類「帳簿」ヲ日本ニ於ケル事業ノ本據ニ備フルコトヲ要ス

日本ニ於ケル保險契約者、被保險者、^(ニ)保險金額ヲ受取ルヘキ者又ハ一般ノ債權者ハ前二條ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求メ又ハ其謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但定款又ハ保險約款ノ定ムル處ニ依リ其謄本又ハ抄本ノ交付ニ付キ手数料ヲ拂フコトヲ要ス

*註 明三三勅令三八〇「又ハ保險金ヲ受取ルヘキ者」

第十條ノ二 外國會社ノ交付スル保險證券ニハ保險約款ヲ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ保險證券及ヒ保險約款ハ別段ノ請求ナキトキハ日本語ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ運送保險、海上保險又ハ再保險ノ契約

ニハ之ヲ適用セス

第十條ノ三 外國會社カ其事業ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタル場合ニ於テ主務官廳ハ必要ト認ムルトキハ殘務ノ取扱ニ付キ代表者ヲ選任又ハ改任スルコトヲ得

第一條ノ二第二項及ヒ保險業法第十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第十條ノ四 外國會社カ其事業ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ日本ニ於ケル保險契約者又ハ社員ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ解除アリタルトキハ損害保險ヲ目的トスル會社ニ在リテハ未ダ經過セサル期間ニ對スル保險料、生命保險ヲ目的トスル會社ニ在リテハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要ス

第十條ノ五 外國會社カ其事業ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第十一條 外國會社カ其事業ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタル場合ニ於テハ第六條又ハ第七條ノ規定ニ依

外國保險會社ニ關スル件

リテ優先權ヲ有スル者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供スルニ非サレハ供託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第十二條 主務官廳カ日本ニ支店又ハ事務所ヲ設ケタル外國會社ノ免許ヲ取消シタルトキハ其處分確定ノ後遲滞ナク其旨ヲ支店又ハ事務所ノ所在地ノ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ支店又ハ事務所ノ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第十三條 主務官廳ノ免許ヲ受ケスシテ保險事業ヲ營ムモノハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

*註 明三三勅令三八〇「第十三條 外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ五百圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル
一 本令ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
二 第八條又ハ第九條ニ掲ケタル書類ヲ備ヘ置カス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ」

第十三條ノ二 主務官廳ノ免許ヲ受ケサル外國人又ハ外國會社ノ爲ニ保險契約者若クハ社員ヲ募集シ又ハ募集セシメタル者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

第十四條

外國人又ハ外國人若クハ外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

- 一 保險事業ニ非サル事業ヲ爲シタルトキ
- 二 生命保險ト損害保險トヲ併セテ營ミタルトキ
- 三 主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ
- 四 主務官廳ノ検査ヲ妨ケタルトキ
- 五 主務官廳ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

六 正當ノ事由ナクシテ本令ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ閱覽セシメス又ハ其謄本若クハ抄本ヲ交付セザリシトキ

七 第五條第一項ノ供託ヲ爲サスシテ事業ヲ開始シタルトキ又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ供託ヲ爲サザリシトキ

八 第七條ノ二ノ規定ニ違反シテ保險契約ノ移轉ヲ爲シ又ハ保險契約ヲ爲シタルトキ

九 第八條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

第十條ノ二ノ規定ニ違反シタルトキ

註 明三三勅令三八〇「外國會社ノ代表者」

註 明三三勅令三八〇「罰金ニ處セラレ」

外國人又ハ外國人若クハ外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ五百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一 本令ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二 本令ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

三 第二條第一項ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ其届出ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

四 第三條ノ二又ハ第八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

五 第八條第一項又ハ第九條ニ掲ケタル書類ヲ備ヘ置カス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

第十五條

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ「前四條」ニ定メタル過料ニ之ヲ準用ス

註 明三三勅令三八〇「前二條」

第十六條 保險業法第三條、第四條、第七條及ヒ第九條乃至第十一條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準用ス 保險業法第十三條ノ規定ハ事業ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタル外國會社カ殘務ノ取扱ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

註 明三三勅令三八〇「第十六條 保險業法第一條、第三條、第四條、第七條、第九條乃至第十一條及ヒ第九十七條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準用ス」

第十六條ノ二

商法第二百六十條ノ規定ハ外國會社カ日本ニ事務所又ハ代理店ヲ設ケタル場合ニ之ヲ準用ス

外國會社カ商法第二百六十條ノ規定ニ依リ支店、事務所又ハ代理店ノ閉鎖ヲ命セラレタルトキハ免許ヲ取消サレタルモノト看做ス

非訟事件手續法第二百六條第二項及ヒ第三百三十四條

外國保險會社ニ關スル件

條乃至第三百三十五條ノ二ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條

商法第九條、第十一條乃至第十五條、第十九條乃至第三十八條、第四十條、第四十一條、第四十八條ノ二、第二百五十五條乃至第二百五十八條及ヒ保險業法第八十五條、第八十六條、第九十條、第九十一條ノ規定ハ外國相互保險會社ニ之ヲ準用ス

第十八條

各登記所ニ外國相互保險會社登記簿ヲ備フ 外國相互會社カ日本ニ事務所ヲ設ケタル場合ニ於テ其登記ヲ申請スルトキハ會社ノ代表者ハ申請書ニ其日本ニ於ケル事業ノ本據及ヒ代表者ノ氏名、住所ヲ記載シ且之ニ左ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

一 主タル事務所ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面

二 代表者タル資格ヲ證スル書面

三 會社ノ定款又ハ會社ノ性質ヲ識別スルニ足ル書面

四 日本ニ於ケル社員ノ名簿

五 主務官廳ノ免許書又ハ其認證アル謄本

前項第一號乃至第三號ノ書面ハ會社ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證ヲ受ケタルモノナルコトヲ要ス

第二十條 外國相互會社ノ代表者カ支配人ノ選任ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其日本ニ於ケル事務所設立ノ登記ノ年月日ヲ記載シ且之ニ「^(一)支配人ノ選任及ヒ數人ノ支配人カ共同シテ代理權ヲ行フヘキコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定ヲ證スル書面」ヲ添附スルコトヲ要ス

*註 明三三勅令三八〇「支配人ノ選任ヲ證スル書面」

第二十一條 非訟事件手續法第三百三十九條、第四百一條乃至第四百九條、^(二)第五百十條、^(三)第五百五十一條乃至第五百五十一條ノ四、第五百五十四條乃至^(四)第六百六十四條、第六百七十三條第一項、第六百七十四條第二項、第二百三條及ヒ第二百四條ノ規定ハ外國相互會社ニ之ヲ準用ス

*註 明三三勅令三八〇「第五百五十一條」

*註 明三三勅令三八〇「第六百五十五條」

第二十二條 第一條ノ二乃至第六條、第七條ノ二乃至

第十一條、第十六條及ヒ第十六條ノ二ノ規定ハ外國人ニ之ヲ準用ス

*註 明三三勅令三八〇「第二十二條 第一條乃至第六條、第八條乃至第十一條及ヒ第十三條乃至第十六條ノ規定ハ外國人カ日本ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム場合ニ之ヲ準用ス」

附則

第二十三條 本令ハ明治三十三年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十四條 本令施行前ニ日本ニ支店、事務所又ハ代理店ヲ設ケタル外國人又ハ外國會社ハ其施行ノ日ヨリ六箇月内ニ其日本ニ於ケル事業ノ本據ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第二十五條 ^(一)「第二條」乃至第十五條、^(二)「第十六條第二項、第十六條ノ二」、第十七條、第二十條、保險業法第一條、第三條、第四條、第九條乃至第十一條及ヒ非訟事件手續法第七十三條第一項、第七十四條第二項ノ規定ハ本令施行前ニ日本ニ支店、事務所又ハ代理店ヲ設ケタル外國人又ハ外國會社ニ之ヲ準用ス

*註 明三三勅令三八〇「第四條」

附則

大正元年十二月二十六日勅令第五十七號附則

第一條 本令ハ明治四十五年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正二年二月一日)

第二條 本令施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外從前ノ規定ヲ適用ス

第三條 本令施行前ニ免許ヲ受ケタル外國會社ニシテ命令ヲ以テ第三條第一項第二號ニ掲ケタル書類ニ定ムヘキコトヲ規定スル事項及ヒ同條第一項第六號ニ掲ケタル書類ニ定ムヘキ事項ニ付キ認可ヲ受ケサルモノハ本令施行後一年内ニ其認可ヲ申請スルコトヲ要ス

第四條 本令施行前ニ免許ノ申請ヲ爲シタル外國人又ハ外國會社ハ命令ヲ以テ第三條第一項第二號ニ掲ケタル書類ニ定ムヘキコトヲ規定スル事項及ヒ第三條第一項第六號ニ掲ケタル書類ヲ補充スルニ非サレハ免許ヲ受クルコトヲ要ス

第五條 外國會社カ從前ノ規定ニ依リ供託シタル金額

外國保險會社ニ關スル件

ハ本令ニ依リ供託シタルモノト看做シ

主務官廳ハ外國會社カ本令ノ施行ニ依リ最初ニ供託スヘキ金額ニ付キ供託ノ期限、方法其他必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ指定ニ依リ未タ供託スルコトヲ要セサル金額ハ第五條第二項ノ差額ノ算出ニ付テハ之ヲ供託シタルモノト看做ス

第六條 本令施行前ニ免許ヲ受ケタル外國會社ハ日本ニ於テ用ウル保險證券ノ様式及ヒ普通保險約款ニシテ未タ認可ヲ受ケサルモノニ付キ本令施行後一年内ニ其認可ヲ申請スルコトヲ要ス

第十條ノ二ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル迄其ノ會社ニ付キ之ヲ適用セス

外國保險會社ニ關スル件

大正元年十二月二十七日
農商務省令第三十號

施行 大正二年二月一日

第一條 外國會社ノ保險事業ノ免許ノ申請ハ日本ニ於ケル代表者ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ明治三十三年勅令第三百八十號第三條ニ掲ケタル書類ノ外本店又ハ主タル事務所ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

明治三十三年勅令第三百八十號第三條第一項第三號ニ掲ケタル書類ハ日本ニ於テ會社カ用ウル各國語別ニ記載シテ之ヲ提出スルコトヲ要ス

第二條 外國會社カ明治三十三年勅令第三百八十號第三條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲ケタル書類ノ變更ノ認可申請ヲ爲スニハ申請書ニ理由書ヲ添附スルコトヲ要ス

第三條 外國會社カ合併又ハ組織變更ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス

第四條 保險業法施行規則第十二條ノ規定ハ明治三十三年勅令第三百八十號第三條第一項第二號ニ掲ケタル書類ニ之ヲ準用ス

第五條 保險業法施行規則第九條ノ規定ハ外國會社カ明治三十三年勅令第三百八十號第五條ノ規定ニ依リ爲ス供託ニ之ヲ準用ス

第六條 保險業法第二十條ノ四ノ規定ニ依リ保險契約移轉ノ認可ヲ受ケムトスル會社ハ移轉契約書作成ノ後雙方連署シテ遲滞ナク其ノ假認可ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ假認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 保險契約移轉契約書
- 二 各會社ノ財産目録及貸借對照表
- 三 移轉セムトスル保險契約ノ種類、金額、件數、契約者數及其ノ地方別統計表
- 四 移轉セムトスル保險契約ノ責任準備金額並其ノ金額算出ノ順序及方法ヲ示シタル書類
- 五 移轉セムトスル財産ノ總額並其ノ種類別ニ各

財産ノ數量及價格ヲ記載シタル書類

六 各會社ノ日本ニ於ケル保險契約ノ件數、金額、契約者數並保險契約ノ種類別ノ件數、金額、契約者數及責任準備金額ヲ記載シタル書類

七 保險契約者ニ對シテ爲スヘキ公告ノ方法ヲ記載シタル書類

前項第二號乃至第六號ニ掲ケタル書類ハ移轉契約書作成ノ日ヲ基準トシテ之ヲ作成スルコトヲ要ス

第二項第六號ニ掲ケタル書類ハ保險契約ノ移轉ヲ受ケル會社カ日本ノ會社ナルトキハ其ノ會社ノ總保險契約ニ付キ之ヲ作成スルコトヲ要ス

第一項ノ假認可ヲ受ケタル後ニ非サレハ保險業法第二十條ノ三ノ公告ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 保險業法施行規則第三十六條乃至第三十九條ノ規定ハ外國會社カ保險契約ノ移轉ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八條 明治三十三年勅令第三百八十號第八條ノ報告書ハ第一號書式ニ準シテ之ヲ作成シ代表者之ニ署名スルコトヲ要ス

前項ノ報告書ニハ日本ニ於ケル事業ニ對スル責任準

外國保險會社ニ關スル件

商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

第十五條 第一條、第二條、第四條乃至第十四條ノ規定ハ外國人ニ之ヲ準用ス

第十六條 外國人又ハ外國人若ハ外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 保險業法施行規則第八條ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ保險證券ニ記載セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ保險證券ニ添附セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シタル書面ヲ添附シタルトキ
- 二 保險業法施行規則第三十四條又ハ第三十七條第四項ノ規定ニ違反シタルトキ

第十七條 外國人又ハ外國人若ハ外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ科料ニ處ス

- 一 第六條ノ規定ニ依リ農商務大臣ノ認許シタル方法ニ違反シテ公告ヲ爲シタルトキ
- 二 第十一條ノ規定ニ依リ農商務大臣ノ指定シタル方法ニ違反シテ公告ヲ爲シタルトキ
- 四 保險業法施行規則第三十九條ニ定ムル方法ト

異ナル方法ニ依リ公告ヲ爲シタルトキ

四 第三條、第八條第二項、第九條、第十四條、保險業法施行規則第六條又ハ第四十七條ノ規定ニ違反シテ届出又ハ書類ノ差出ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

附則

- 第十八條 本令ハ大正元年勅令第五十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正二年二月一日)
- 第十九條 本令施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外從前ノ規定ヲ適用ス
- 第二十條 第五條ノ規定ハ大正元年勅令第五十七號附則第五條ノ規定ニ依リ供託ニ之ヲ準用ス
- 第二十一條 第八條ノ規定ニ該當スル事項ニ付テハ本令施行後二年間第九條ノ規定ニ該當スル事項ニ付テハ六箇月間ニ限り仍從前ノ規定ニ依リコトヲ得
- 第二十二條 保險業法施行規則第五十五條及第五十八條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準用ス

書式

會社

自年月日 日本ニ於ケル事業報告書 至年月日

- 一 事業ノ概況
- 二 定款ノ變更
(本項ニハ定款ノ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ要領、其ノ決議、申請及認可ノ年月日等ヲ記載スヘシ)
- 三 日本ニ於ケル事業ノ方法書ノ變更
(一ニ準ス)
- 四 普通保險約款ノ變更
(一ニ準ス)
- 五 保險料及責任準備金算出ノ基礎ニ關スル書類ノ變更
(一ニ準ス)
- 六 財産利用方法書ノ變更
(一ニ準ス)
- 七 支店又ハ從タル事務所ニ關スル事項
(本項ニハ支店又ハ從タル事務所ノ異動及現在ノ所在ヲ記載スヘシ)

外國保險會社ニ關スル件

八 代理店ニ關スル事項

- 八 代理店ニ關スル事項
(本項ニハ代理店ノ異動數及現在數ヲ記載スヘシ)
- 九 相互會社ノ社員ニ關スル事項
(本項ニハ社員ノ増減及其ノ現在數ヲ記載スヘシ)
- 十 利益又ハ剩餘金ノ分配ニ關スル事項
(本項ニハ保險契約ニ對スルモノヲ記載スヘシ)
- 十一 事業ノ成績
(本項ニハ左ノ様式ニ從ヒ事業ノ成績ヲ記載スヘシ)
- 一 死亡保險(生死混合保險ヲ含ム)ニ在リテハ保險業法施行規則書式第一號附錄第一乃至第七ニ準ス
- 二 生存、年金、徵兵保險ニ在リテハ保險業法施行規則書式第一號附錄第一乃至第六ニ準ス
- 三 傷害及疾病保險ニ在リテハ保險業法施行規則書式第一號附錄第一、第八及第九ニ準シ傷害保險ニ在リテ年金ノ給付ヲ約シタルモノアルトキハ年金受領者ニ對シ第一號附錄第五ニ準シタル死亡率比較統計表ヲ作成スヘシ
- 四 海上及運送保險ニ在リテハ保險業法施行規則書

式第一號附錄第十及第十一ニ準ス

五 火災、信用、機關汽鐘其ノ他ノ損害保險ニ在リ

テハ保險業法施行規則書式第一號附錄第九乃至

第十一ニ準ス

備考 再保險ニ在リテハ其ノ原保險ノ種類ニ適用ス

ヘキ書式ニ準ス

十二 其ノ他重要ナル事項

右報告候也

年月日

日本ニ於ケル代表者 氏名

第二號

年中保險事業狀況報告書

會社

甲	月始現在契 約 新契約及其 他ノ増加	死亡保險		生存保險		計	年保險	
		數件	金額	數件	金額		數件	金額

號	清減契約及 其ノ他ノ減少	約月未現在契

乙	收		支		出
	再保險金額	諸利息	再保險料	保險金額	

右報告候也

年月日

日本ニ於ケル代表者 氏名

農商務大臣宛

備考

一 本表ハ生命保險、火災保險、海上保險、運送保險等ノ事業別ニ記載シ甲號ニ在リテハ左ノ區別ニ從フコトヲ要ス

一 生命保險ニ在リテハ死亡、生存、年金等ニ分チ年金以外ノモノニ付キ合計ヲ附スルコト

二 火災保險ニ在リテハ動産(日歩契約)不動産及日歩契約ニ分チ日歩契約以外ノモノニ付キ合計ヲ附シ日歩契約ノ新契約及消滅契約ニ付テハ日々ノ保險金額ヲ累計シタルモノヲ掲記スルコト

三 海上保險ニ在リテハ定時、航海ニ分チ航海外國保險會社ニ關スル件

ハ更ニ船舶ト貨物トニ區別シ合計ヲ附スルコト

四 傷害保險ニ在リテ旅行中ノ危險ノミヲ保險スルモノアルトキハ之ヲ區別シテ掲記スルコト

五 信用保險、傷害保險等ニシテ保險ノ目的又ハ之ニ準スヘキモノヲ一團トシテ契約シタルモノアルトキハ之ヲ區別シテ掲記スルコト

二 新契約及其ノ他ノ増加ニハ新契約、繼續又ハ復活シタル契約、保險金額ノ累加變更、其ノ他ノ事由ニ因ル増加ヲ算入スルコトヲ要ス

三 消滅契約及其ノ他ノ減少ニハ保險金支拂ノ事由發生ニ因リテ消滅シタル契約、保險契約ノ解除、失效、保險期間ノ滿了、保險金額ノ遞減、變更其ノ他ノ事由ニ因ル消滅及減少ヲ算入スルコトヲ要ス

四 保險金額ニ増減アルモ件數ニ異動ヲ及ホササルモノニ付テハ其ノ件數ハ相當欄ニ括弧ヲ附

外國保險會社ニ關スル件

シテ之ヲ示スコトヲ要ス

五 事項ノ性質ニ因リ正確ナル數ヲ知り得サルモ
ノアルトキハ其ノ概數ヲ記載スルコトヲ得此
ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ備考トシテ説明スル
コトヲ要ス

六 生命保險ヲ目的トスル會社ニ在リテハ當該月
末ニ於ケル保險證券擔保貸付金ノ現在高ヲ附
記スルコトヲ要ス

◎外國保險會社ニ關スル件

明治三十二年勅令
第二百七十三號

施行 明治三十二年六月十六日
廢止 明治三十三年十一月十四日

- 第一條 外國會社カ日本ニ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ムトキハ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムルコトヲ要ス
- 第二條 外國會社ハ其日本ニ於ケル代表者ノ氏名、住所ヲ政府ニ届出ツルコトヲ要ス
- 第三條 商法施行法第九十五條及第九十七條乃至第一百一條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準用ス
- 第四條 政府カ外國會社ノ營業ノ繼續ヲ困難トナリ認ムルトキ又ハ外國會社カ政府ノ命令ニ違反シタルトキハ政府ハ其營業ノ停止又ハ代表者ノ改任ヲ命スルコトヲ得

外國保險ニ關スル件

第五條 外國會社ハ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ル毎ニ遲滞ナク營業報告書損益計算書及ヒ利益ノ配當ニ關スル案ト共ニ之ヲ政府ニ差出スコトヲ要ス

第六條 商法施行法施行前ニ日本ニ支店又ハ代理店ヲ設ケタル外國會社ハ商法施行法施行ノ日ヨリ六箇月内ニ政府ノ免許ヲ得ルコトヲ要ス

第七條 第一條、第二條、第四條、第五條及ヒ商法施行法第九十八條乃至第一百一條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準用ス

附則 此勅令ハ商法施行法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎外國保險會社ニ關スル件

施行 明治三十三年十一月十五日
農商務省令第十九號

廢止 大正二年一月三十一日

第一條 外國會社ノ保險事業ノ免許ノ申請ハ代表者ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 外國會社カ明治三十三年勅令第三百八十號第三條ニ掲ケタル書類ノ外本店又ハ主タル事務所ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三條 外國會社カ商法又ハ明治三十三年勅令第三百八十號ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク

登記シタル事項及其登記ノ年月日ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス但社員名簿ニ爲シタル記載ハ此限ニ在ラス

第四條 外國會社カ解散・合併又ハ組織變更ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス

第五條 明治三十三年農商務省令第十五號第六條乃至第八條、第十條及ヒ第十四條乃至第二十一條ノ規定ハ外國會社ノ日本ニ於ケル事業ニ之ヲ準用ス

第六條 明治三十三年農商務省令第十五號第二十四條乃至第二十六條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準用ス

第七條 前五條ノ規定ハ本令施行前ニ免許ヲ受ケタル外國會社ニ之ヲ準用ス但本令施行ノ日ヨリ一年間ハ明治三十三年農商務省令第十五號第八條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

附則

第八條 本令ハ明治三十三年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

保險會社又ハ外國保險會社カ供託金ニ代用スルコトヲ得ヘキ有價證券ニ關スル件

施行

大正十年四月二十八日
農商務省令第十一號

大正十年八月一日
農商務省令第二十號

保險會社又ハ外國保險會社カ保險業法第四條ノ第二項又ハ明治三十三年勅令第三百八十號第五條第三項ノ規定ニ依リ供託金ニ代用スルコトヲ得ヘキ有價證券ハ國債證券トス

前項ノ國債證券ノ代用價格ハ其債權金額トス

前項ノ債權金額ニシテ外國貨幣ヲ以テ表示シタルモノニ付テハ左ノ標準ニ依リ日本貨幣ニ之ヲ換算ス

英貨一ポンド 九圓七十六錢三厘

保險會社又ハ外國保險會社カ供託金ニ代用スルコトヲ得ヘキ有價證券ニ關スル件 一四五

佛貨一フランク 三十八錢七厘
米貨一ドル 二圓六厘

附則

本令ハ大正十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前供託シタル國債證券以外ノ有價證券ハ地方債證券ニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ十年、其ノ他ノモノニ在リテハ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其ノ效力ヲ有ス

參照 大正二年農商務省告示第七十號

國債證券及地方債證券及其他ノ有價證券ヲ保險會社又ハ外國保險會社カ供託
金ニ代用シ得ヘキコトノ認許方 一四六

◎國債證券及地方債證券及其他ノ有價證券
ヲ保險會社又ハ外國保險會社カ供託金ニ
代用シ得ヘキコトノ
認許方

大正二年三月五日
農商務省告示第七十號
廢止 大正十年七月三十一日

國債證券及地方債證券ハ保險會社又ハ外國保險會社
カ保險業法第四條ノ第二項又ハ明治三十三年勅令
第三百八十號第五條第三項ノ規程ニ依リテ之ヲ供託金
ニ代用シ得ヘキコトヲ認許ス但其代用價格ハ國債證
券ニアリテハ其債權金額トシ地方債證券ニアリテハ
其債權金額ノ十分ノ九トス

前項ニ記載セサル有價證券ニ付テハ株式會社日本銀
行、株式會社橫濱正金銀行、株式會社日本勸業銀行
株式會社日本興業銀行、株式會社臺灣銀行、株式會
社北海道拓殖銀行、株式會社朝鮮銀行、東洋拓殖株
式會社、日本郵船株式會社、南滿洲鐵道株式會社ノ
株券又ハ債券ニ限リ會社ノ申請ニ依リ其都度之ヲ認
許ス但其株券ニシテ外國會社ノ所有シ得サルモノハ
外國會社ニ付キ之ヲ除ク
前項ノ場合ニ於テハ其代用價格ハ時價ノ十分ノ八ト
ス

備考
本告示ノ廢止ハ大正十年四月二十八日農商務省告
示第七十六號ニ依ル

示第七十六號ニ依ル

◎保險會社又ハ外國保
險會社ノ供託金ニ代
用シ得ヘキ有價證券
中債權金額換算方

大正六年九月一日農商務
省告示第二百三十一號
廢止 大正十年七月三十一日

大正二年農商務省告示第七十號第一項ニ依リ保險會
社又ハ外國保險會社ノ供託金ニ代用シ得ヘキ有價證
券中其債權金額ヲ外國ノ貨幣ヲ以テ表示シタルモノ
ハ左ノ標準ニ依リ日本ノ貨幣ニ換算ス但シ左ニ掲ケ
サルモノハ供託ノ都度之ヲ定ム
英貨一ポント 九圓七十六錢三厘
佛貨一フランク 三十八錢七厘

備考

本告示ノ廢止ハ大正十年四月二十八日農商務省告
示第七十六號ニ依ル
保險會社又ハ外國保險會社ノ供託金ニ代用シ得ヘキ有價證券中債權金額換
算方

一四七

所得稅法中追加

(保險料控除ニ關スル件)

大正十二年四月五日
法律第四十一號

所得稅法中左ノ通改正ス

第十六條ノ三 自己若ハ家族又ハ其ノ相續人ヲ保險金受取人トスル生命保險契約ノ爲ニ拂込ミタル保險料ハ年額二百圓ヲ限り命令ノ定ムル所ニ依リ本人ノ申請ニ依リ其ノ所得ヨリ之ヲ控除ス

附則

本法ハ大正十三年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

附則ニ關スル件
大正十三年分所得稅ニ關スル件

所得稅法施行規則中 改正

(保險料控除ニ關スル件)

大正十三年二月二十二日
勅令 第二十三號

所得稅法施行規則中左ノ通り改正ス

第十一條ノ二 所得稅法第十六條ノ三ノ規定ニ依リ第三種ノ所得ヨリ控除スヘキ保險料ハ前年四月一日ヨリ其ノ年三月末日迄ニ拂込ミタル金額ニ依リ之ヲ計算シ所得稅法第十四條乃至第十六條ノ規定ニ依リ算出シタル金額ヨリ之ヲ控除ス
同一人ニシテ山林ノ所得ト山林以外ノ所得トヲ有スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ控除ハ先ツ山林以外ノ所得ニ付之ヲ爲シ不足アルトキハ山林ノ所得ニ及ブ

所得稅法施行規則中改正(保險料控除ニ關スル件)

第十一條ノ三 前條第一項ノ規定ニ依リ控除ヲ受ケムトスル者ハ所得稅法第二十五條ノ申告ト同時ニ其ノ申請書ヲ所轄稅務署ニ提出スヘシ但シ其年五月一日以後ニ於テ第三種ノ所得ニ付納稅義務アルニ至リタルトキハ所得金額ノ決定前其所得ノ申告ト同時ニ之ヲ提出スヘシ

第十一條ノ四 前條ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 保險者ノ住所及名稱
 - 二 保險ノ種類
 - 三 保險期間
 - 四 保險金額
 - 五 保險金受取人ノ住所氏名及保險契約者トノ續柄
 - 六 前年四月一日ヨリ其ノ年三月末日迄ニ拂込ミタル保險料金額
- 第十一條ノ五 稅務署長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ依リ申請ヲ爲シタル者ニ對シ保險料領收證書其ノ他必要ナル書類ノ呈示又ハ提出ヲ命スルコトヲ得

大正十三年勅令第八十四號ニ依ル助成金ニ關スル件

大正十三年四月十九日
農商務省令第六號

施行

大正十三年四月十九日

- 第一條** 保險會社カ助成金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ大正十三年五月十五日迄ニ助成金交付申請書ニ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 一 交付ヲ受ケムトスル助成金ノ額
 - 二 會社ノ出捐セムトスル總金額(助成金ニ依ル出捐金額及助成金ニ依ラサル出捐金額ヲ區分スヘシ)
 - 三 被害保險契約ノ保險金額別ノ保險金額ニ對スル會社ノ出捐セムトスル金額ノ割合(再保險者タル會社ニ在リテハ本號ノ事項ヲ記載スルコトヲ要セス)
 - 四 被害保險契約ノ保險金額別ノ件數、金額及被保險者數(再保險者タル會社ニ在リテハ保險金額別ト爲スコトヲ要セス)
 - 五 損害ノ生シタル日ノ屬スル保險期間ノ被害保險契約保險料ノ額(會社カ保險料ノ一部ヲ返還スル義務ヲ有スルモノニ在リテハ之ヲ控除シタル殘額トシ保險期間一年ヲ超ユル保險契約ニ在リテハ一年分ノ額トス)
 - 六 大正十二年十二月三十一日現在ニ於ケル會社ノ現金ノ額及左記各資産ニ付第一號乃至第四號書式ニ準シテ作成シタル明細表
 - イ 預ケ金(各種ノ寄託金ヲ含ム)
 - ロ 貸付金
 - ハ 有價證券
 - ニ 不動産
 - 七 結付金ノ年額、納付開始ノ年及納付期間
- 前項第二號乃至第五號ノ事項ニシテ正確ナル數ヲ知リ得サルモノアルトキハ其ノ概數ヲ記載スルコトヲ要ス

得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
農商務大臣ハ第一項ニ掲クル書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ助成金交付申請書ヲ差出シタル保險會社特別ノ事由ニ依リ其ノ受ケムトスル助成金ノ額ヲ變更セムトスルトキハ大正十三年六月三十日ヲ限リ前數項ノ規定ニ依リ其ノ旨申請スルコトヲ得

第二條 助成金ノ交付ヲ受ケタル保險會社出捐ヲ爲スニ付テハ助成金ノ交付ヲ受ケタル後遲滞ナク被保險者ニ對シ二箇月内ニ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告シ且知レタル被保險者ニ對シテハ各別ニ之ヲ通知スヘシ
出捐ハ前項ノ期間經過前ニ申出ヲ爲シタル被保險者ニ限リ之ヲ爲スヘシ但シ特別ノ事情アル被保險者大正十三年八月三十一日迄ニ申出ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 助成金ノ交付ヲ受ケタル保險會社カ被保險者ニ對シ出捐ヲ爲ス場合ニ於テハ少クトモ損害ノ生シタル日ノ屬スル保險期間ノ保險料ニ相當スル金額ヲ出捐スヘシ

大正十三年勅令第八十四號ニ依ル助成金ニ關スル件

保險會社カ農商務大臣ノ認可ヲ受ケテ定ムル小口被保險者ニ對シ出捐ヲ爲ス場合ニ於テハ前項ノ保險料ニ相當スル金額ヲ含メテ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ヲ損害額ニ乘シタル額ノ百分ノ十二相當スル金額ヲ出捐スヘシ
前二項ノ保險料トハ保險料中會社カ其ノ一部ヲ返還スル義務ヲ有スルモノニ在リテハ之ヲ控除シタル殘額トシ保險期間一年ヲ超ユル保險契約ニ在リテハ一年分ノ額トス

第四條 助成金ノ交付ヲ受ケタル保險會社ハ第五號書式ニ準シ毎月末日ヲ以テ出捐金額ヲ取纏メ翌月十五日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ

第五條 保險會社カ大正十三年八月三十一日迄ニ被保險者ニ對シ爲シタル出捐ノ總額ヨリ助成金ニ依ラズシテ爲スヘキ出捐額ヲ減シタル額カ其ノ受ケタル助成金ノ總額ニ滿タサルトキハ其ノ差額ヲ之ニ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ年四分ノ利息ヲ附シ翌月末日限リ政府ニ返納スヘシ

第六條 助成金ノ交付ヲ受ケタル保險會社ハ配當シ得

ヘキ利益金中ヨリ毎年納付金ヲ政府ニ納付スヘシ
第七條 納付金ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ五十年以内ニ於テ農商務大臣ノ指定スル期間之ヲ納付スヘシ

納付金ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ三年以内ニ於テ農商務大臣ノ指定スル期間之ヲ納付スルコトヲ要セス但シ農商務大臣ハ保險會社ノ資力ニ依リ其ノ期間ヲ五年以内ニ於テ指定スルコトヲ得

第八條 毎年ノ納付金ノ額ハ助成金ニ相當スル金額ヲ年四分ノ利率ヲ以テ借入レ前條第一項ノ規定ニ依ル指定期間ヲ償還期限トシ前條第二項ノ規定ニ依ル指定期間ヲ據置期間トシ據置期間内ノ利息ハ據置期間經過後ニ支拂フモノトシ且毎年同一金額ヲ償還スルモノトスル場合ニ於ケル年賦償還金ノ計算方法ニ依リ算出シタルモノトス

第九條 各保險會社ニ對スル助成金ノ額ハ毎年ノ納付金ノ額カ會社ノ第一條第一項第六號ニ掲グル資産ニシテ農商務大臣ノ認ムルモノノ大正十二年十二月三

十一日現在ニ於ケル償還ノ半額ニ百分ノ六ヲ乘シタル額ヲ超エサルコトヲ限度トシテ之ヲ定ム
第十條 納付金ハ利益配當其ノ他ノ利益金處分ニ先チ政府ニ之ヲ納付スヘシ

第十一條 保險會社ハ第七條第二項ノ規定ニ依ル指定期間内ニ終了スル毎事業年度ニ於テ利益配當其ノ他ノ利益金處分ニ先チ配當シ得ヘキ利益金中ヨリ納付金ノ年額ヲ其ノ期間内ニ終了スル事業年度數ヲ以テ除シテ得タル額ヲ下ラサル金額ヲ納付準備金トシテ積立ツヘシ

保險會社ハ前項ノ期間ヲ經過シタル後ニ於テハ每事業年度配當シ得ヘキ利益金中ヨリ納付金及株主配當金ヲ控除シタル殘額ノ四分ノ一ヲ下ラサル金額ヲ納付準備金トシテ積立ツヘシ
 前二項ノ規定ニ依リ積立ツル納付準備金ノ總額ハ將來納付スヘキ納付金ノ總額ヲ限度トス
 納付準備金ハ損失ヲ填補シ又ハ納付金ノ不足額ニ充當スル場合ヲ除クノ外之ヲ減少スルコトヲ得ス
第十二條 保險會社ノ配當シ得ヘキ利益金カ其ノ年ノ

納付金額ニ達セサルトキハ納付準備金ヲ以テ其ノ不足額ニ充當シ尙不足アルトキハ其ノ不足額ハ遞次次年ノ納付金ノ年額ニ之ヲ合算シ其ノ合算額ヲ以テ次年ノ納付金ノ額トス

第十三條 第七條第一項ノ規定ニ依ル指定期間内ニ納付金ノ納付ヲ完了セサルトキハ其ノ納付ヲ完了スルニ至ル迄其ノ期間ヲ延長ス

第十四條 保險會社ハ納付金ノ納付ヲ完了スルニ至ル迄株主ニ對スル利益金ノ配當ニ付農商務大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十五條 保險會社ノ解散ノ場合ニ於テハ合併ニ因ル場合ヲ除クノ外會社カ存續シ且將來各年ニ於テ納付金ヲ完納スルニ足ル配當シ得ヘキ利益金ヲ有シタリトセハ其ノ各年ニ於テ納付スヘキ納付金ヲ年六分ノ利率ニ依リ現價ニ換算シ株主ニ對スル殘餘財産ノ分配ニ先チ一時ニ政府ニ納付スヘシ

第十六條 農商務大臣ハ第一條ノ申請ヲ爲シタル會社カ第六條、第七條及第十條乃至前條ニ定ムル事項ヲ定款ニ記載シタル後ニ非サレハ助成金ヲ交付スルコト

トヲ得ス

第十七條 助成金ノ交付ヲ受ケタル保險會社又ハ之ヲ合併シ若ハ之ヲ當事者トスル合併ニ因リテ設立シタル保險會社ハ納付金ノ納付ヲ完了スルニ至ル迄前條ニ規定スル事項ヲ定款ニ記載スヘシ
第十八條 再保險者タル保險會社ニ付テハ農商務大臣ハ第二條乃至第四條ノ規定ノ適用ニ關シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行前保險會社ノ差出シタル助成金交付申請書ニシテ本令ニ適合スルモノハ之ヲ本令ニ依リ差出シタル助成金交付申請書ト看做ス
 第一號

預ケ金明細表

預ケ先	種類	金額	利率	預入年	償還	摘要
			(年)	月	日	
合計						

備考

本表ニハ種類別ニ小計ヲ附スヘシ

第二號

貸付金明細表

借主ノ氏名	金額	利率(年)	貸付日	年償還期間	方法及擔保	摘要
合計						

備考

一 擔保カ不動産ナルトキハ所在、種類(土地ニ在リ)坪數及抵當權ノ順位ヲ、有價證券ナルトキハ種類、券面額(株式ニ在リ)及數量、財團ナルトキハ其ノ種類、財團所有者ノ氏名及抵當權ノ順位ヲ、船舶ナルトキハ船種、船名、噸數(又ハ石積數)及抵當權ノ順位ヲ記載スヘシ

二 本表ニハ擔保ノ種類別ニ小計ヲ附スヘシ

第三號

有價證券明細表

銘柄	債權額又ハ株數	價額	單價ノ標準	單價	利率又ハ配當率	價額一〇〇ニ對スル一年間豫算利益見込額	摘要
合計							

備考

- 一 株券以外ノ有價證券ニハ拂込額ヲ記載スルコトヲ要セス
- 二 配當率ハ會社ノ事業年度内ニ於テ最終ニ配當ヲ受ケタル配當ノ率ヲ記載スヘシ
- 三 有價證券ヲ會社ニ於テ保管セサルトキ又ハ有價證券ノ上ニ設定セラレタル權利アルトキハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
- 四 本表ハ國債證券(内國債、外國債ニ分ツ)地方債證券、社債券株券別ニ小計ヲ附スヘシ

第四號

不動産明細表

所在及種類	用途	構造	坪數	價額	一年間豫算利益	諸税及諸費用ノ概要	摘要
合計							

保險募集取締規則

昭和六年七月三十一日
商工省令第七號

施行 昭和六年八月十五日

- 第一條 本則ニ於テ保險會社トハ生命保險事業又ハ徵兵保險事業ヲ營ム保險會社ヲ謂フ
本則ニ於テ保險外務員トハ保險會社ノ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スル者ヲ謂フ
- 第二條 本則ノ規定ニ依リ商工大臣ニ差出スベキ書面ハ所屬保險會社ヲ經テ之ヲ差出スベシ
保險外務員又ハ保險外務員タリシ者ニ送付スベキ書面ハ所屬保險會社ヲ經テ之ヲ送付ス
- 第三條 保險會社ガ保險契約者ノ募集勸誘ノ爲使用スル文書圖畫ニハ會社名ヲ記載スベシ
前項ノ文書圖畫ハ使用前其ノ二部ヲ商工大臣ニ差出スベシ
- 第四條 保險會社ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ記載シタル文書圖畫ヲ保險契約者ノ募集勸誘ノ爲使用スルコトヲ得ズ

- 一 將來ニ於ケル利益又ハ剩餘金ノ分配ニ關スル豫想
- 二 他ノ保險會社トノ比較
- 三 保險會社ハ前項第一號及第二號ニ掲グル事項ヲ新聞紙、雜誌其ノ他ノ刊行物ニ廣告スルコトヲ得ズ
- 第五條 商工大臣ハ保險會社ガ保險契約者ノ募集勸誘ノ爲使用スル文書圖畫ヲ不當ナリト認メタルトキハ其ノ使用ヲ禁止ス
前項ノ規定ニ依リ文書圖畫ノ使用ヲ禁止セラレタルトキハ保險會社ハ遲滞ナク破棄、回收其ノ他使用ヲ止ムルニ必要ナル處置ヲ爲シ其ノ結果ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ
- 第六條 保險會社ノ保險外務員タラントスル者ハ保險外務員原簿ニ登錄ヲ受クベシ
- 第七條 商工省ニ保險外務員原簿ヲ備ヘ左ノ事項ヲ記載ス
 - 一 氏名
 - 二 生年月日
 - 三 住居

- 四 所屬保險會社
- 五 所屬保險會社トノ關係
- 六 主トシテ募集勸誘ニ從事スル區域
- 七 登錄ノ年月日
- 第八條 保險外務員ノ登錄ヲ受ケントスル者ハ登錄申請書(様式第一號)ニ履歷書(様式第二號)及所屬保險會社ノ證明書(様式第三號)ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ差出スベシ
二以上ノ保險會社ノ保險外務員ノ登錄ヲ受ケントスルトキハ前項ノ書類ノ外各所屬保險會社ノ同意書(様式第四號)ヲ添附スベシ
- 第九條 登錄ノ有効期間ハ登錄ノ日ヨリ三年トス但シ同一人ニ付二以上ノ登錄アル場合ニ於テハ後ノ登錄ノ有効期間ハ最先ノ登錄ノ殘存期間トス
- 第十條 登錄ノ有効期間滿了ノ日前一月乃至三月内ニ保險外務員ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ第八條ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 第十一條 第七條第一號、第三號、第五號又ハ第六號ノ事項ニ變更アリタルトキハ二十日內ニ保險外務員

- 原簿訂正ノ申請書(様式第五號)ヲ商工大臣ニ差出スベシ
- 前項ノ申請書ニハ其ノ變更アリタル事實ヲ證スル書面ヲ添附スベシ
- 第十二條 第十四條第二項ノ規定ニ依リ登錄ヲ抹消セラレタル日ヨリ一年ヲ經過セザル者ニ付テハ商工大臣ハ保險外務員ノ登錄ヲ拒否ス
保險外務員トシテ著シク不當ノ所爲アリタリト認メタル者ニ付テハ商工大臣ハ保險外務員ノ登錄ヲ拒否スルコトアルベシ
- 第十三條 商工大臣保險外務員ノ登錄ヲ爲シタルトキハ保險外務員證(様式第六號)ヲ交付ス保險外務員原簿ヲ訂正シタルトキ亦同シ
- 第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ商工大臣ハ保險外務員ノ登錄ヲ抹消ス
 - 一 登錄ノ有効期間滿了シタルトキ
 - 二 登錄抹消ノ申請アリタルトキ
 - 三 保險外務員死亡シタルトキ
- 保險外務員著シク不當ノ所爲アリタルトキハ商工大

臣ハ保險外務員ノ登錄ヲ抹消ス

商工大臣前項ノ規定ニ依リ登錄ヲ抹消シタルトキハ
登錄ヲ抹消セラレタル者ニ之ヲ通知ス

第十五條 保險外務員死亡シタルトキハ其ノ相續人若
ハ親族又ハ所屬保險會社ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ商工大
臣ニ届出ヅベシ

第十六條 保險外務員保險外務員證ヲ滅失又ハ毀損シ
タルトキハ事由ヲ具シ其ノ再交付ヲ商工大臣ニ申請
スベシ

第十七條 保險外務員保險契約者ノ募集勸誘ヲ爲スト
キハ保險外務員證ヲ携帯スベシ

第十八條 保險外務員ハ保險契約者ノ募集勸誘ニ付左
ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 所屬保險會社ヨリ交付ヲ受ケタルモノニ非サル
文書圖書ヲ使用スルコト

二 保險契約者若ハ被保險者力重要ナル事實ヲ告グ
ルヲ妨グ又ハ保險契約者若ハ被保險者ヲシテ重
要ナル事項ニ付不實ノコトヲ告グシムルコト

三 他ノ保險會社トノ保險契約ノ解除、效力ヲ失ハ

シムル行爲又ハ約款ニ依ル借入ヲ懲罰スルコト
四 保險料ノ割引、割戻其ノ他特別ノ利益ノ提供ヲ
約スルコト

第十九條 保險會社又ハ保險外務員ハ他ノ保險會社ノ
信用ヲ毀損シ若ハ其ノ業務ヲ妨害スル事項ヲ公ニシ
又ハ他人ヲシテ之ヲ公ニセシムルコトヲ得ズ

第二十條 保險會社ハ本店又ハ主タル事務所（外國保
險會社ニ在リテハ其ノ日本ニ於ケル事業ノ本據）ニ
保險外務員名簿（様式第七號）ヲ備置クベシ

第二十一條 保險會社ハ毎年一回保險外務員年報（様
式第八號）ヲ商工大臣ニ差出スベシ

第二十二條 當該官吏ハ保險外務員ニ對シ保險外務員
證及保險契約者ノ募集勸誘ノ爲使用スル文書圖書ノ
提示ヲ命ズルコトヲ得

第二十三條 保險外務員ノ登錄、保險外務員證ノ再交
付又ハ保險外務員原簿訂正ノ申請ヲ爲ス者ハ左ノ區
別ニ從ヒ手数料ヲ納付スベシ

一 保險外務員ノ登錄ノ申請 每一件一圓五十錢
二 保險外務員證ノ再交付ノ申請 每一件五十錢

三 保險外務員原簿訂正ノ申請 每一件十錢

前項ノ手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第二十四條 保險外務員ノ登錄ヲ受ケズシテ保險會社
ノ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事シタル者ハ拘留又ハ
科料ニ處ス

第二十五條 左ノ場合ニ於テハ保險會社ノ取締役又ハ
監査役ヲ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第四條又ハ第十九條ノ規定ニ違反シタルトキ
二 第五條第二項ノ規定ニ違反シ必要ナル處置ヲ爲
サズ又ハ届出ヲ忘リ若ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタル
トキ

第二十六條 保險外務員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキ
ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 所屬セザル保險會社ノ保險契約者ノ募集勸誘ヲ
爲シタルトキ

二 保險外務員證ヲ他人ニ使用セシメタルトキ

三 第十七條乃至第十九條ノ規定ニ違反シタルトキ
四 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザルトキ

ニ違反シタルトキハ保險會社ノ取締役又ハ監査役ヲ
科料ニ處ス

第二十八條 保險外務員第十一條ノ規定ニ違反シタル
トキハ科料ニ處ス

第二十九條 保險會社ノ取締役、監査役、代理人、雇
人其ノ他ノ從業者又ハ保險外務員ニシテ本則ノ規定
又ハ本則ノ規定ニ依ル命令ニ違反スル所爲ヲ教唆シ
又ハ幫助シタル者ハ各本條ニ照シ之ヲ處罰ス但シ情
狀ニ依リ其ノ刑ヲ免除スルコトヲ得

第三十條 保險會社ノ取締役又ハ監査役ハ其ノ保險會
社ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者ガ保險會社ニ關ス
ル本則ノ規定ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己
ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ本則ノ處罰ヲ免ルルコ
トヲ得ズ

第三十一條 保險會社ノ取締役又ハ監査役ニ適用スベ
キ本則ノ罰則ハ外國保險會社ニ在リテハ其ノ日本ニ
於ケル代表者ニ之ヲ適用ス

附 則

本則ハ昭和六年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

保險募集取締規則

一六四

本則施行ノ際現ニ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スル者ハ昭和六年十一月三十日迄保險外務員ノ登録ヲ受クルコトナクシテ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スルコトヲ得

本則施行ノ際現ニ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スル者ニシテ前項ノ期間内ニ保險外務員ノ登録ノ申請ヲ爲シタルモノハ前項ノ期間經過後ト雖登録ヲ受ケ又

ハ登録ヲ拒否セラルル迄仍保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スルコトヲ得

保險會社ハ本則施行ノ際現ニ其ノ保險會社ノ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スル者ニ付第七條第一號、第三號及第六號ニ掲ケル事項ヲ昭和六年九月三十日迄ニ商工大臣ニ届出ズベシ

様式第一號(登録申請書)

二十五種

收入印紙		保險外務員登録申請書	
所屬保險會社		住所	
主トシテ募集勸誘ニ從事スル區域		氏名	
私儀保險外務員ノ登録相受度此段及申請候也		年月日生	
商工大臣宛		氏名	
添附書類		年月日生	
證明書類		氏名	

注意

- 一 收入印紙ニハ消印スベカラズ
- 二 氏名ニハ振假名ヲ附スベシ
- 三 第八條第二項ニ該當スル場合ニ於テハ同意書ヲ添附スベシ

様式第二號(履歷書)

二十五種

本籍		住所	
氏名		年月日生	
學歷		職業	
保險契約者ノ募集勸誘ニ從事シタルコトノ有無		右ノ通相違無之候也	
年月日		氏名	

注意

保險會社ノ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事シタルコトアル者ハ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事シタルコトノ有無ノ項ニ其ノ會社及從事期間(自年月日)ヲ記載スベシ

保險募集取締規則

一六五

樣式第三號(證明書)

二十五年

證明書

右者(所屬保險會社トノ關係ヲ記載スベシ)トシテ本社ノ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スル者ニ相違無之候也

年 月 日

.....會社

取締役 氏 名

樣式第四號(同意書)

二十五年

同意書

右者.....會社ノ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スルコトニ同意候也

年 月 日

.....會社

取締役 氏 名

樣式第五號(保險外務員原簿訂正申請書)

二十五年

收入印紙

保險外務員原簿訂正申請書

一 登録番號

一 所屬保險會社

一 訂正事項

氏 名

住 所

所屬保險會社トノ關係

主トシテ募集勸誘

ニ從事スル區域

.....

右之通保險外務員原簿訂正相成度此段及申請候也

年 月 日

商工大臣宛

氏 名

注意

- 一 收入印紙ニハ消印スベカラズ
- 二 氏名ニハ振假名ヲ附スベシ
- 三 訂正事項ハ必要ナルモノノミヲ記載スベシ
- 四 變更アリタル事實ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

様式第六號(保險外務員證)

六 種

八・五 種

↑ ↓

表面

昭和 年登録第 號
自年月日
至年月日

、保險會社 氏 名

商 工
省 印
保險外務員證

商 工 省

五 耗 ↓

様式第七號(保險外務員名簿)

昭 和	年 登 録 第 號	昭 和	年 月 日 登 録
有 效 期 間		氏 名	
生 年 月 日		住 所	
主トシテ募集勸誘ニ従事スル區域		會社トノ關係	
登録抹消ノ年月日		記 事	

注 意

- 一 記事欄ニハ登録抹消ノ事由、關係終了ノ年月日等ヲ記載スベシ
- 二 登録番號順ニ整理スベシ

裏 面

↑ ↓

二・五 種

住 所	生 年 月 日	所屬保險會社トノ關係	主トシテ募集勸誘ニ従事スル區域	登録年月日

注 意
本證ハ登録ノ有効期間満了其ノ他不用トナリタルトキハ遲滞ナク之ヲ返納スベシ

五 耗 ↓

相互保險會社登記取扱手續

スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケス

※註

明三三省令一八「第四條 登記所ニハ登記簿、社員名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

一 原本抄本證明書交付帳

二 相互保險會社登記申請書附屬書類送達帳

三 受領證原符元帳

四 決定原本備込帳

五 登記簿原本備込帳

六 登記簿送付帳

七 抗告書類送達帳

八 印送簿

明三三省令三五ヲ以テ「三 外國相互保險會社登記申請書附屬書類送達帳」ノ一號ヲ追加、以下號數ヲオクル 明三五省令一八ヲ以テ「二 相互保險會社登記申請書囑託書附屬書類送達帳、三 外國相互保險會社登記申請書通知書附屬書類送達帳」ニ改正

(六)本 第四條ノ二 削除

※註

明三五省令一八「第四條ノ二 前條第一號乃至第八號ノ帳簿ハ一箇年毎ニ別冊ト爲スヘシ」

第五條 相互會社ハ設立ノ登記ノ申請書ニハ設立ノ年月日ヲ記載スヘシ

(二) 外國相互保險會社ノ登記ノ申請書ニ添付スヘキ書類カ外國語ヲ以テ記載シタルモノナルトキハ申請人ハ之ニ其譯文ヲ添付スヘシ

第六條 登記所ニ差出スヘキ社員名簿ノ表紙ハ厚紙ヲ

用キ表面ニ何々相互會社社員名簿ト記載シ裏面ニ其枚數ヲ記載シ申請人記名捺印スヘシ

社員名簿ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ取締役又ハ監査役カ多數ナルト

キハ各一人ノ記名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第七條 社員名簿カ二冊以上ナルトキハ申請人ハ各冊

ノ表紙ニ其冊數ヲ記載スヘシ

(三) 第七條ノ二 相互會社カ其本店ヲ登記所ノ管轄外ニ移

轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記ヲ申請スルトキ

ハ更ニ社員名簿ヲ差出スヘシ但社員名簿ニハ現在セ

ル事項ノミヲ記載スヘシ

(四) 前項ノ規定ハ外國相互保險會社ノ其事務所ヲ登記所

ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於

テハ其申請書ニ變更シタル事項ノ記載アル用紙ヲ編

綴セル社員名簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第九條 相互會社ノ設立ノ年月日ハ登記用紙中豫備欄

ニ之ヲ記載スヘシ

(三) 第九條ノ二 相互會社ノ支配人ノ登記ハ登記用紙中豫

備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第十條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ社員名簿ノ

表紙ニ登記番號、受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記

所ノ名稱ヲ記載スヘシ

第十一條 社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキ

ハ社員登記簿ノ登記用紙中番號欄ニ其登記簿ニ於ケ

ル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ

變更シタル事項ノ記載アル社員名簿ノ冊數及ヒ丁數

ヲ記載シ相當欄ニ保險業法第四十九條ノ規定ニ依リ

社員名簿ニ記載シタル事項ヲ移シタル上變更欄ニ其

登記ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ社員名簿中相當部分ノ

餘白ニ社員登記簿第何冊何丁ニ移シタル旨及ヒ年月

日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第十二條 社員ノ入社ニ因リ社員名簿ノ記載ノ變更ノ

申請アリタルトキハ社員登記簿ノ登記用紙中番號欄

ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號

相互保險會社登記取扱手續

ヲ記載シ相當欄ニ保險業法第四十九條ニ掲ケタル事

項ヲ登記スヘシ

第十三條 社員ノ退社ニ因リ社員名簿ノ記載ノ變更ノ

申請アリタルトキハ社員名簿中相當部分ノ餘白ニ其

登記ヲ爲シ退社シタル社員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

若シ其社員カ社員登記簿ニ登記セラレタル者ナルト

キハ社員登記簿ノ登記用紙中變更欄ニ退社ノ登記ヲ

爲シ登記番號及ヒ其社員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

第十四條 社員登記簿ノ登記用紙中或欄カ登記ヲ爲ス

ヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新ニ番號欄ニ前番號

ヲ轉寫シ其左側ニ第二ノ文字、前番號ノ用紙ヲ編綴

セル社員登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコ

トヲ記載シ社員ノ氏名、住所欄ニ社員ノ氏名、住所

ヲ移シタル上登記ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ

第一ノ文字並ニ繼續用紙ヲ編綴セル社員登記簿ノ冊

數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ

之ヲ準用ス

相互保險會社登記取扱手續

一七四

第十四條ノ二 本令中社員名簿及ヒ社員登記簿ニ關スル規定ハ社員ノ全員カ保險料ヲ限度トシテ責任ヲ負フ會社ニハ之ヲ適用セシ

第十四條ノ三 社員ノ全員カ保險料ヲ限度トシテ責任ヲ負フ會社ノ社員名簿ハ第四條第二號ノ帳簿ニ之ヲ編綴スヘシ

第十四條ノ四 削除

*註 大元省令五「第十四條ノ四 保險業法第八十七條及ヒ第八十九條ノ規定ニ依ル登記ノ囑託ニ付テハ登記費ヲ要セス」

大元省令一「第十四條ノ四 保險業法第八十七條及ヒ第八十九條ノ規定ニ依ル登記ノ囑託ニ付テハ登録費ヲ要セス」

前項ノ規定ハ明治三十三年勅令第三百八十號第十六條ノ二第三項ノ規定ニ依ル登記ノ囑託ニ之ヲ準用ス

第十五條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條△第三十九條「第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條、第九條乃至第二十一條、第二十一條第一項、第三項、第五項、第二十條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十三條」

第十四條ノ三、第四十三條ノ五乃至第四十四條ノ四、第四十四條ノ七乃至第四十六條「第四十七條第二項、第四十八條」第四十九條ノ三ノ規定ハ相互保險會社ノ登記ニ之ヲ準用ス

*註 (五)明三三省令一八「第三十三條乃至第三十九條」
(七)大元省令二「第三十八條」
(六)明三三省令一八「第二十三條乃至第三十三條」
(三)明三三省令一八「第四十四條乃至第四十六條」

第十六條 商業登記取扱手續第四十四條ノ二ノ規定ハ外國相互保險會社カ其事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 外國相互保險會社ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外相互保險會社ノ登記ニ關スル規定ヲ準用ス

附則 明治三十三年六月三十日 司法省令第十八號附則

受附番號ハ明治三十三年分ニ限り七月一日ニ始メ十二月三十一日ニ止ムヘシ

附則 大正元年十月十一日 司法省令第五號附則

本令ハ明治四十五年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 大正二年一月三十日 司法省令第一號附則

本令ハ大正二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 大正二年五月二十二日 司法省令第二十一號附則

本令ハ大正二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 大正五年十二月二十一日 司法省令第三十一號附則

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前調製シタル帳簿及ヒ用紙ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スヘシ
見出帳ハ之ヲ改製スルマテハ仍ホ従前ノ雜形ニ依ルヘシ

附則 大正七年三月二十五日 司法省令第三號附則

本令ハ大正七年三月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

相互保險會社登記取扱手續

一七五

附則 大正十一年十二月二十一日 司法省令第三十七號附則
本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號
相互保險會社登記簿
區裁判所

紙數表紙ヲ除キ
枚
地方裁判所長

部		部	
名	稱	名	稱
登記簿	冊數丁數登記番號 綴用紙ノ冊數	登記簿	冊數丁數登記番號 綴用紙ノ冊數
備考		備考	

(六)

丁

附錄第三號

「何々相互會社」社員登記簿	
區	裁判所

「内ハ朱書

紙數表ヲ除キ	
枚	地方裁判所長

相互保險會社登記簿等ニ關スル謄本抄本ノ交付其他請求者ノ納ムヘキ手数料 一八四

相互保險會社登記簿等ニ關スル謄本抄本ノ交付其他請求者ノ納ムヘキ手数料

大正十四年八月二十八日
司法省令第二十號
改正(一) 昭和二年四月三十日
司法省令第十五號

左ニ掲クル登記簿ニ關スル謄本若ハ抄本ノ交付、登記事項ニ變更ナキコト若ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明又ハ登記簿ノ交付ヲ請求スル者ノ納ムヘキ手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

本令ハ大正十四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十三年司法省令第十九號、同第三十號、同第三十六號、明治四十一年司法省令第二號及明治四十四年司法省令第二號ハ之ヲ廢止ス

附則

- 産業組合登記簿
- 産業組合聯合會登記簿
- 産業組合中央會登記簿
- 産業組合中央金庫登記簿
- 森林組合登記簿
- 漁業組合登記簿
- 漁業組合聯合會登記簿
- 住宅組合登記簿
- 輸出組合登記簿
- 重要輸出品工業組合登記簿
- 重要輸出品工業組合聯合會登記簿
- 海外移住組合登記簿
- 海外移住組合聯合會登記簿

大正十年司法省令第十八號第七條及大正十二年司法省令第二十一號第八條ハ之ヲ削除ス

附則 昭和二年四月三十日 司法省令第十五號附則

本令ハ昭和二年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照 明治三十二年五月十日 司法省令第十四號抄錄

第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第四百十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料十五錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

十五錢ヲ納ムヘシ
第三條 非訟事件手續法第四百十三條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十五錢ヲ納ムヘシ
第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記簿ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ
第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

共同擔保目録ヲ提出シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請求スル者ハ其提出シタル用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ豫備欄ニ登記シタル事項ヲ登寫セサル用紙ニ付キ亦同シ
第二條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金

相互保險會社登記簿等ニ關スル謄本抄本ノ交付其他請求者ノ納ムヘキ手数料 一八五

◎相互保險會社登記

簿謄本抄本請求等

ニ關スル手数料額

明治三十三年六月三十日
司法省令第十九號

廢止 大正十四年八月三十一日

相互保險會社登記簿ノ謄本文ハ抄本ノ交付ノ請求ニ關
スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第
一條及ヒ第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

備考

明治三十二年司法省令第十四號第一條及ヒ第三條乃
至第六條ハ大正十四年司法省令第二十號ノ參照トシ
テ掲ケタリ

全日本相互保險會社連合會
大正十四年八月三十一日

◎相互保險會社登記

簿謄本抄本請求等

ニ關スル手数料額

明治三十三年十月六日
司法省令第三十八號

廢止 大正十四年八月三十一日

相互保險會社登記簿ノ謄本文ハ抄本ノ交付ノ請求ニ關
スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第
一條及ヒ第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

備考

明治三十二年司法省令第十四號第一條及ヒ第三條乃
至第六條ハ大正十四年司法省令第二十號ノ參照トシ
テ掲ケタリ

全日本相互保險會社連合會
大正十四年八月三十一日

外國相互保險會社

ニ關スル登記事務

取扱所

明治三十三年十月六日
司法省令第三十八號

外國相互保險會社ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取
扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱フ

株主

朱登三 關スル年費

登記簿謄本抄本請求

外國相互保險會社

外國相互保險會社ニ關スル登記事務取扱所

外國相互保險會社 登記簿謄本抄本請 求等ニ關スル手數 料額

明治三十三年九月二十七日
司法省令第三十六號

外國相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求
等ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十
四號第一條及ヒ第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス
備考

明治三十二年司法省令第十四號第一條及ヒ第三條乃
至第六條ハ大正十四年司法省令第二十號ノ參照トシ
テ掲ケタリ

外國相互保險會社

◎戰時海上保險補償 法

大正三年九月十一日
法律第四十四號

第一條 日本ノ保險業者又ハ外國保險業者ノ日本ニ設
ケタル支店、事務所若ハ代理店カ主務官廳ノ定メタ
ル海上保險料率以下ニ於テ保險契約ヲ爲シ戰爭ニ因
リテ生シタル損害ヲ填補シタルトキハ政府ハ保險業
者ニ對シ其ノ填補額ノ一部ヲ補償ス

前項ノ補償ヲ受ケムトスル者ハ損害填補ノ日ヨリ二
箇月内ニ申請スルコトヲ要ス但シ正當ノ事由アルト
キハ此ノ限ニ在ラス

第二條 補償ヲ受ケルコトヲ得ヘキ保險ノ目的ハ左ノ
各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

一 日本ニ船籍ヲ有シ主務官廳ノ定メタル航路ノ航
海ヲ爲ス船舶但シ政府ニ徵用セラレ、政府、外國
政府若ハ外國人ニ貸付シ又ハ之ニ對シ船舶ノ全
戰時海上保險補償法

部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ハ之ヲ
除ク

二 日本ヨリ輸出シ若ハ之ニ輸入スル積荷又ハ前號
ニ掲ケタル船舶ニ搭載スル積荷

再保險契約ニ付テハ其ノ元受保險契約亦前項ノ條件
ヲ具備スルコトヲ要ス

遞次ニ再保險ニ付シタル場合ニ於テ其ノ再保險者中
前項ノ要件ヲ具備セサルモノアルトキハ其ノ者以後
ノ再保險者ハ補償ヲ受ケルコトヲ得ス

第三條 主務官廳必要アリト認ムルトキハ前二條ノ規
定ノ範圍内ニ於テ補償ヲ受ケルコトヲ得ヘキ保險業
者又ハ保險ノ目的タル船舶若ハ積荷ノ範圍ヲ制限ス
ルコトヲ得

第四條 元受保險業者カ再保險ニ付シタル場合ニ於ケ
ル補償ニ關スル規定ハ主務官廳之ヲ定ム

第五條 保險業者カ委付ニ依リテ取得シタル權利ノ價
額ハ之ヲ填補額ヨリ控除シ其ノ殘額ニ依リ補償額ヲ
算定ス

前項ノ權利ノ價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ主務官廳之

ラ定ム
 第六條 主務官廳ノ補償ニ關スル處分ヲ受ケタル者不
 服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ補
 償金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 備考

本法ノ廢止ハ大正六年七月二十日法律第二十號戰時
 海上再保險法附則ニ依ル

●戰時海上保險補償法

●戰時海上保險補償法施行ニ關スル件

大正三年九月十一日
 勅令第百八十九號

戰時海上保險補償法ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ之ヲ施行ス
 關東州ニ於ケル戰時海上保險契約ニ關シテハ前項ノ法
 律ニ依ル
 朝鮮、臺灣、樺太及關東州ニ於ケル戰時海上保險補償
 法ノ施行ニ關スル主務官廳ハ農商務大臣トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●戰時海上保險補償法施行ニ關スル件

戰時海上保險補償法施行ニ關スル件

◎戰時海上保險補償 法施行規則

大正三年九月十二日
農商務省令第十九號

第一條 海上保險料率ハ航路別ニ定メ之ヲ告示ス

第二條 補償スヘキ金額ハ填補額ノ百分ノ八十トス
再保險ニ付シタル場合ニ於テ元受保險業者ノ受ケヘ
キ補償額ノ算定ニ付テハ其ノ支拂ヒタル保險金額ヨ
リ其ノ收受スヘキ再保險金額ヲ控除シタル殘額ヲ以
テ前項ノ填補額ト看做ス但シ再保險者カ補償ヲ受ケ
ルコトヲ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テ政府ノ補償スヘキ金額ハ元受
保險業者ノ支拂ヒタル保險金額ヨリ其ノ收受スヘキ
再保險金額ヲ控除シタル殘額ヲ以テ限度トス

第三條 保險業者ハ補償ヲ受ケルコトヲ得ヘキ損害ノ
發生シタルコトヲ知リタルトキハ速帶ナク之ヲ農商
務大臣ニ報告スヘシ

第四條 補償申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要
ス

- 一 保險金請求書寫
- 二 損害證明書寫
- 三 損害調査書
- 四 保險證券若ハ之ニ代ルヘキ證書寫
- 五 保險金額領收書寫
- 六 再保險ニ付シタル場合ニ於テハ其ノ再保險者、
保險金額、保險料及再保險ニ依リテ收受スヘキ
金額ヲ記載シタル書類
- 七 再保險者カ補償ヲ請求スル場合ニ於テハ再保險
契約ノ成立ヲ證スル書類

前項第三號ニ掲ケタル書類ニハ特ニ損害力戰爭ニ因
リテ生シタルモノナルコトヲ證明スルニ足ルヘキ一
切ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條 保險業者ハ毎月締結シタル保險契約中補償ヲ
受ケルコトヲ得ヘキモノニ付附屬様式ニ從ヒ報告書
ヲ作成シ翌月十五日迄ニ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘ
シ

附則

(附屬様式)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

航路	報告書(船舶)(積荷)	件數	保險金額	大正 年 月 分	
				保 險 金 額	保 險 料
内地桑港間(ホノルル經由)			円		円
内再保險ニ付シタルモノ					
合 計					
内再保險ニ付シタルモノ					

戰時海上保險補償法施行規則第五條ニ依リ報告候也

備考

年月日

取締役

農商務大臣

戰時海上保險補償法施行規則

- 一 本書ハ船舶ト積荷ニ分チ之ヲ作ルコトヲ要ス
- 二 航路ハ大正三年農商務省告示第二百四十七號
記載ノ順位ニ依リ實際契約シタルモノヲ記載
スヘシ但シ其ノ記載方ハ實際契約シタル航路
(例之、内地上海間)ヲ記載スルコトヲ妨ケス

◎戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別保險料率指定

- (一) 大正三年九月十七日 農商務省告示第百四十七號
- (二) 大正三年九月十七日 農商務省告示第百五十一號
- (三) 大正三年九月二十三日 農商務省告示第百六十號
- (四) 大正三年十月五日 農商務省告示第百七十四號
- (五) 大正三年十月十四日 農商務省告示第百八十四號
- (六) 大正三年十一月三日 農商務省告示第百九十六號
- (七) 大正三年十一月十日 農商務省告示第百零八號

改正

- (八) 大正三年十一月十六日 農商務省告示第百一十一號
- (九) 大正三年十一月二十八日 農商務省告示第百二十一號
- (十) 大正三年十一月二十八日 農商務省告示第百二十五號
- (十一) 大正三年十二月十八日 農商務省告示第百三十四號
- (十二) 大正四年一月八日 農商務省告示第百三十八號
- (十三) 大正四年四月二十九日 農商務省告示第百九十七號
- (十四) 大正四年六月十五日 農商務省告示第百六十五號
- (十五) 大正四年七月二日 農商務省告示第百八十三號
- (十六) 大正四年十月四日 農商務省告示第百三十八號
- (十七) 大正四年十一月四日 農商務省告示第百五十九號
- (十八) 大正四年十一月二十七日 農商務省告示第百七十四號
- (十九) 大正四年十二月二十一日 農商務省告示第百九十八號
- (二十) 大正五年一月二十九日 農商務省告示第百一十五號

- (二十一) 大正五年二月二十六日 農商務省告示第百三十六號
- (二十二) 大正五年三月三日 農商務省告示第百四十號
- (二十三) 大正五年十一月一日 農商務省告示第百二十六號
- (二十四) 大正五年十二月二十五日 農商務省告示第百六十五號
- (二十五) 大正六年二月二十六日 農商務省告示第百四十三號
- (二十六) 大正六年四月十六日 農商務省告示第百七十一號
- (二十七) 大正六年六月二日 農商務省告示第百二十五號

番號	航路	最高料率 (保險金額 百圓ニ付)
(六) 一	内地、朝鮮、臺灣、樺太間	五錢
(六) 二	樺太、朝鮮、臺灣間	五錢
(六) 三	臺灣、朝鮮間	五錢

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

番號	航路	最高料率 (保險金額 百圓ニ付)
(六) 四	關東州、内地、朝鮮、臺灣、樺太、露領沿海州諸港間	五錢
(六) 五	内地、朝鮮、臺灣、樺太、浦蘆、露領沿海州諸港間	五錢
(六) 六	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、安東縣、遼東半島及渤海沿岸諸港間	五錢
(六) 七	内地、朝鮮、臺灣、樺太、上海、楊子江沿岸、澳門及其ノ間ノ支那沿岸諸港間	五錢
(六) 八	關東州、上海、楊子江沿岸、澳門及其ノ間ノ支那沿岸諸港間	五錢
(六) 九	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、澳門、以西新嘉坡ヲ經テ蘇士ニ至ル大陸沿岸諸港(新嘉坡及蘇士ニ含ム)間	五錢
(六) 〇	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、トホートセイド以西シブラルタル	二十錢

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別
 保險料率指定

以東地中海沿岸諸港間 *註 大三告示二四七	四十錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トシアラタル以北和蘭ニ至ル歐 州大陸太平洋沿岸諸港並英國諸港 間	七十五錢
*註 大三告示二四七 内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由和蘭ニ至ル歐洲大陸	七十五錢
太平洋沿岸諸港、英國諸港間 *註 大三告示二四七	七十五錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由亞米利加東海岸諸港 間(西印度諸島) *註 大三告示二四七	四十錢
同上歐洲(丁抹及其ノ以北ヲ除ク) ノ諸港ヲ經由スルモノ *註 大三告示二四七	七十五錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト蘇士經由亞米利加東海岸諸港間 (西印度諸島) *註 大三告示二四七	五十錢
同上シアラタル以北(歐洲丁抹 及其ノ以北ヲ除ク)ノ諸港ヲ經由	

スルモノ *註 大三告示二四七	七十五錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト呂宋島間 *註 大三告示二四七	十錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト瓜哇、スマトラ(新嘉坡經由ヲ 含ム)英領ホルネオ諸港間 *註 大三告示二四七	三十錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト瓜哇、スマトラ(ホルネオ東海 岸經由ノモノ)其ノ他ノ關領東印 度洋洲、新西蘭、英領ニューギニ ヤ、佛領ニューカレドニア間 *註 大三告示二四七	九十錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト加奈陀、北米合衆國太平洋沿岸 諸港間 直航	十五錢
布哇經由 *註 大三告示二四七	四十錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト布哇間 *註 大三告示二四七	二十五錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト英領ホルネオ間 (西印度諸島) *註 大三告示二四七	

ト墨西哥及其ノ以南ノ亞米利加太 平洋沿岸諸港間(布哇經由 *註 大三告示二四七)	五十錢
替口ヨリ「澳門」ニ至ル大陸沿岸諸 港相互間(香港ヲ含ム) (三) *註 大三告示二四七	五錢
「澳門」ヨリ「蘇士」ニ至ル亞細亞大陸 (新嘉坡、錫)沿岸諸港相互間 *註 大三告示二四七	十五錢
蘇士以西地中海沿岸諸港相互間 *註 大三告示二四七	二十錢
シアラタル以北和蘭ニ至ル歐洲 大陸諸港及英國諸港相互間 *註 大三告示二四七	三十五錢
香港(呂宋島)間 (三) *註 大三告示二四七	五錢
「澳門」以西新嘉坡ニ至ル亞細亞大 陸沿岸諸港ト「呂宋島」間 *註 大三告示二四七	十五錢
新嘉坡ト瓜哇スマトラ諸港間 (二) *註 大三告示二四七	十五錢
「呂宋島」ト英領ホルネオ間 (三) *註 大三告示二四七	五錢
「澳門」以西新嘉坡ニ至ル大陸諸港 ト英領ホルネオ間	十錢

*註 大三告示二四七 瓜哇スマトラ以外ノ關領東印度、 濠洲新西蘭英領ニューギニヤ、ニ ューカレドニア、プレザント島、 オーシヨン島「クリスマス島」諸 港相互間 *註 大三告示二四七	七十五錢
同上諸港ト瓜哇スマトラ新嘉坡間 又ハ香港間 *註 大三告示二四七	八十五錢
亞米利加太平洋沿岸、諸港相互間 *註 大三告示二四七	十錢
布哇ト北亞米利加太平洋沿岸諸港 相互間 *註 大三告示二四七	十五錢
布哇ト南亞米利加太平洋沿岸諸港 相互間 *註 大三告示二四七	二十五錢
「呂宋島」ト瓜哇、スマトラ以外ノ 關領東印度、濠洲、英領ニューギ ニヤ、佛領ニューカレドニア間 *註 大三告示二四七	八十錢
内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州ト 巴拿馬經由亞米利加東海岸諸港間 (西印度諸島) *註 大三告示二四七	

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別
 保險料率指定

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別
 保險料率指定

六二	關東州ト内地、朝鮮、臺灣、樺太	五
六二	浦鹽、露領沿海州諸港間	五
六三	露領沿海州諸港間 *註 大三告示三〇二	五
六三	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州	五
六四	ト安東縣、遼東牛島及渤海沿岸諸港間 *註 大三告示三〇二	五
六四	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州	五
六五	ト上海、楊子江沿岸、澳門及其ノ間ノ支那沿岸諸港(香港ヲ含ム)間	五
六六	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト澳門以西新嘉坡ニ至ル大陸沿岸諸港(新嘉坡ヲ含ム)間	十五
六六	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト新嘉坡以西蘇士ニ至ル大陸沿岸諸港(蘇士ヲ含ム)間	六十五
六七	*註 大三告示三〇二 内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トボートセイド以西シブラルタル	四十五
六八	以東地中海沿岸諸港間(蘇士經由)	五十五
六八	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州ト蘇士經由シブラルタル以北歐洲大陸沿岸(カレールニ至ル沿岸ヲ除ク) 露港並英國(ハルウキツチ以北アバール諸港間(イーンニ至ル東海岸ヲ除ク) 諸港間(ドール以北ハルウキツチニ至ル英國諸港以外ニ付テハドール海峡通過ノモノヲ除ク) *註 大三告示三〇二	五十五
六九	同上喜望峯經由ノモノ	五十五
七〇	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州ト英國(ハルウキツチ以北アバール)間(蘇士經由) *註 大三告示三〇二	六十五

二〇〇

七一	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トカレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港間(交戰國船隻ヲ除ク) (蘇士經由) *註 大三告示三〇二	七十五
七二	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト蘇士以南カレールニ至ル亞弗利加沿岸諸港間	六十五
七三	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トカレール以南ケイプタウンニ至ル亞弗利加沿岸諸港(マダガスカル島及	六十五
七四	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由亞米利加東海岸諸港(西印度諸島ヲ含ム)間	六十五
七五	*註 大三告示三〇二 内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由亞米利加東海岸諸港(西印度諸島ヲ含ム)間	六十五
七六	*註 大三告示三〇二 同上歐洲(カレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港及ハルウキツチ以北アバール)間(蘇士經由) *註 大三告示三〇二	六十五
七六	同上歐洲(カレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港及ハルウキツチ以北アバール)間(蘇士經由) *註 大三告示三〇二	六十五

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別
 保險料率指定

七一	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トカレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港間(交戰國船隻ヲ除ク) (蘇士經由) *註 大三告示三〇二	七十五
七二	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト蘇士以南カレールニ至ル亞弗利加沿岸諸港間	六十五
七三	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トカレール以南ケイプタウンニ至ル亞弗利加沿岸諸港(マダガスカル島及	六十五
七四	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由亞米利加東海岸諸港(西印度諸島ヲ含ム)間	六十五
七五	*註 大三告示三〇二 内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由亞米利加東海岸諸港(西印度諸島ヲ含ム)間	六十五
七六	*註 大三告示三〇二 同上歐洲(カレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港及ハルウキツチ以北アバール)間(蘇士經由) *註 大三告示三〇二	六十五
七六	同上歐洲(カレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港及ハルウキツチ以北アバール)間(蘇士經由) *註 大三告示三〇二	六十五

二〇一

七一	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トカレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港間(交戰國船隻ヲ除ク) (蘇士經由) *註 大三告示三〇二	七十五
七二	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト蘇士以南カレールニ至ル亞弗利加沿岸諸港間	六十五
七三	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 トカレール以南ケイプタウンニ至ル亞弗利加沿岸諸港(マダガスカル島及	六十五
七四	内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由亞米利加東海岸諸港(西印度諸島ヲ含ム)間	六十五
七五	*註 大三告示三〇二 内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州 ト喜望峯經由亞米利加東海岸諸港(西印度諸島ヲ含ム)間	六十五
七六	*註 大三告示三〇二 同上歐洲(カレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港及ハルウキツチ以北アバール)間(蘇士經由) *註 大三告示三〇二	六十五
七六	同上歐洲(カレール以北スタウバンガールニ至ル歐洲大陸沿岸諸港及ハルウキツチ以北アバール)間(蘇士經由) *註 大三告示三〇二	六十五

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

(二十七)* 九七 除	亞米利加東海岸ト歐洲(カレドニア以北ス ニ至ル大陸沿岸及ハルウキツチ以北ア) 諸 港間(ドーパー以北ハルウキツチニ至ル英 通ノモノ) ヲ除ク)	二十 錢
(六) 九八	香港呂宋島間	五 錢
(六) 九九	香港ト比律賓群島(呂宋島)間	十五 錢
(六) 一〇〇	澳門以西新嘉坡ニ至ル亞細亞大陸 沿岸諸港ト呂宋島間	五 錢
(六) 一〇一	新嘉坡ト爪哇(ジャバヘットヨリサウス) スマトラ(バンガカリスヨリコタラジャヤ ヲ除ク) 諸港間	五 錢
(六) 一〇二	新嘉坡ト爪哇(ジャバヘットヨリサウス) スマトラ(バンガカリスヨリコタラジャヤ ヲ除ク) 諸港間	五 錢
(八)* 一〇三 除	澳門以西新嘉坡ニ至ル大陸諸港ト 英領ボルネオ間	十五 錢
(六) 一〇四	爪哇(ジャバヘットヨリサウス)、スマト ラ(バンガカリスヨリコタラジャヤ ヲ除ク) 諸港間	五 錢
(六) 一〇五	ラ(バンガカリスヨリコタラジャヤヲ除ク) ボルネオ、其ノ他ノ蘭領東印度、濠 洲(ノースウエストヨリ) 諸港相互 間	二十五 錢
(六) 一〇六	ニューギニア(南領)、濠洲(ヨリヨ リウイオンニ至ル) 新西蘭、佛領コ ユーカレドニヤ相互間	三十 錢
(六) 一〇七	爪哇(ジャバヘットヨリサウス)、スマト ラ(バンガカリスヨリコタラジャヤヲ除ク) ボルネオ、其ノ他ノ蘭領東印 度、濠洲(ノースウエストヨリ) 諸港 トニューギニア(南領)、濠洲(ヨリ ヨリウイオンニ至ル) 新西蘭、佛領 ニューカレドニヤ間	三十五 錢

(六) 一〇八	瓜哇(ジャバヘットヨリサウス)、スマトラ (バンガカリスヨリコタラジャヤヲ除ク) ボルネオ、其ノ他ノ蘭領東印度、濠 洲(ノースウエストヨリ) 諸港ト濠洲 (サウスウエストヨリ) 瓜哇(ジャバヘ ットヨリ) スマトラ(バンガカリスヨ リコタラジャヤ ヲ除ク) 諸港 間	四十五 錢
(六) 一〇九	ニューギニア(南領)、濠洲(ヨリヨ リウイオンニ至ル) 新西蘭、佛領コ ユーカレドニヤト瓜哇(ジャバヘットヨ リサウス) 南沿岸)スマトラ(バンガカリスヨリコ タラジャヤヲ除ク) 諸港相互間	五十二 錢
(六) 一一〇	管口ヨリ澳門ニ至ル大陸沿岸諸港 (香港ヲ含ム)、新嘉坡ト瓜哇(ジャバヘ ットヨリサウス) 南沿岸)スマトラ(バンガカリスヨリコ タラジャヤヲ除ク) 諸港相互間	五十五 錢
(六) 一一一	比律賓群島トニューギニア(南領) 濠洲(ヨリヨリウイオンニ至ル) 新西蘭 佛領ニューカレドニヤ間	五十二 錢
(六) 一一二	比律賓群島ト瓜哇(ジャバヘットヨリ サウス) 南沿岸)スマトラ(バンガカリスヨリコ タラジャヤヲ除ク) 諸港相互間	五十二 錢
(六) 一一三	他ノ蘭領東印度、濠洲(ノースウエ ストヨリ) トニューギニア(南領) 間	二十五 錢
(六) 一一四	比律賓群島トニューギニア(南領) 濠洲(ヨリヨリウイオンニ至ル) 新西蘭 佛領ニューカレドニヤ間	五十二 錢
(六) 一一五	比律賓群島ト瓜哇(ジャバヘットヨリ サウス) 南沿岸)スマトラ(バンガカリスヨリコ タラジャヤヲ除ク) 諸港相互間	五十二 錢

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依リ戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依ル戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

(六) 一六	香港又ハ新嘉坡トブレザント島、 オーション島、マリアナ群島、マ ーシャル群島、カロリン群島間	四五 十
(六) 一七	比律賓群島トブレザント島、オー ション島、マリアナ群島、マーシ ヤル群島、カロリン群島間	五 十
(六) 一八	ブレザント島、マリアナ群島、カ ロリン群島、マーシャル群島ト瓜 哇(ジャバヘッドヨリサウス)、スマトラ (シンガポールの南沿岸ヲ除ク)、 ボルネオ、其ノ他ノ蘭領東印度、 濠洲(ノースウエストヨリ) 諸港間	五 十
(六) 一九	ブレザント島、オーション島、マ リアナ群島、カロリン群島、マト シルヤ群島、マカテア島トニュー	五 十

(六) 二〇	ギニア(離領ヲ)、濠洲(ヨロクヨリ 至ル北西沿)、新西蘭、佛領ニューカ レドニア間	五 十
(六) 二一	ブレザント島、オーション島、マ リアナ群島、カロリン群島、マー シャル群島、マカテア島諸港、相 互間	五 十
(六) 二二	布哇トブレザント島、オーション 島、マリアナ群島、カロリン群島 マーシャル群島間	五 十
(六) 二三	布哇トフリスマス島、マカテア島 間	五 十
(六) 二四	布哇ト北米合衆國及其ノ以北亞米 利加太平洋沿岸諸港間	五 十
(六) 二五	北米合衆國及其ノ以北ノ亞米利加 太平洋沿岸諸港相互間	五 十

(六) 一六	墨西哥及其ノ以南ノ亞米利加太平 洋沿岸諸港相互間	三 十
(六) 一七	墨西哥及其ノ以南ノ亞米利加太平 洋沿岸諸港ト北米合衆國及其ノ以 北ノ亞米利加太平洋沿岸諸港間	三 十
(六) 一八	亞米利加東海岸諸港(西印度諸 島ヲ含ム)ト巴 奈馬經由呂宋島間(經由)	三 十
(六) 一九	檳榔嶼ヨリ澳門ニ至ル大陸沿岸諸港 (香港ヲ含ム)ト浦鹽、露領沿海州諸港間 (香港ヲ含ム)	三 十
(六) 二〇	檳榔嶼ヨリ澳門ニ至ル大陸沿岸諸港 (香港ヲ含ム)ト蘇士經由亞米利加東海岸 諸港(西印度諸島ヲ含ム)間(東經十度以東北緯四十 八度以南ノ地中海ニ付テ ハ船舶 ヲ除ク)	三 十
(六) 二一	檳榔嶼ヨリ澳門ニ至ル大陸沿岸諸港 (香港ヲ含ム)ト喜望峯經由亞米利加東海 岸諸港(西印度諸島ヲ含ム)間	三 十

(六) 二二	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 二三	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 二四	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 二五	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 二六	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 二七	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 二八	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 二九	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三〇	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三一	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三二	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三三	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三四	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三五	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三六	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十
(六) 三七	シアララルタル以北歐洲大陸諸港(カ レドニア島ヲ除ク)英國(チルウキツ ル東海岸ヲ除ク)諸港ト英國(チルウキツ ル東海岸)諸港間	三 十

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依ル戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定 二〇七

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依ル戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

(二十五)* 前除	本註大告示三二一 管口ヨリ蘇士ニ至ル亞細亞大陸沿岸諸港(香港、新嘉坡、檳榔嶼ヲ含ム)ト喜望峰經由	(二十四) 一圓零錢
(二十四)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸(カレール以北スタウパン)諸港並ニ英國(ハルウキツチ以北アバード)諸港間(ハルウキツチニ至ル東海岸ヲ除ク)以テハドール海峽通過ノモノヲ除ク	(二十) 八圓零錢
(二十三)	管口ヨリ新嘉坡ニ至ル亞細亞大陸沿岸諸港(香港及新嘉坡)ト露領沿海州諸港間	(二十) 八圓零錢
(二十二)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸諸港(カレール以北スタウパン)英國諸港ト和蘭、丁抹、瑞典、諸威(スタウパン北ヲ)諸港間(交戰國船舶及其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(二十一)	ガルタフキ岬以南喜望峰ニ至ル亞細亞東海岸諸港(マダガスカル島及マウリチウス島ヲ含ム)相互間	(二十) 八圓零錢
(二十)	喜望峰以北シアラタル海峽ニ至ル亞細亞東海岸諸港(其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(十九)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸諸港(カレール以北スタウパン)英國諸港ト和蘭、丁抹、瑞典、諸威(スタウパン北ヲ)諸港間(交戰國船舶及其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(十八)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸諸港(カレール以北スタウパン)英國諸港ト和蘭、丁抹、瑞典、諸威(スタウパン北ヲ)諸港間(交戰國船舶及其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(十七)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十六)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十五)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十四)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十三)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十二)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十一)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(九)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(八)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(七)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(六)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(五)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(四)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(三)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(二)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(一)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢

(二十五)* 前除	本註大告示三三四 管口ヨリ蘇士ニ至ル亞細亞大陸沿岸諸港(香港、新嘉坡、檳榔嶼ヲ含ム)相互間	(二十) 八圓零錢
(二十四)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸(カレール以北スタウパン)諸港並ニ英國(ハルウキツチ以北アバード)諸港間(ハルウキツチニ至ル東海岸ヲ除ク)以テハドール海峽通過ノモノヲ除ク	(二十) 八圓零錢
(二十三)	管口ヨリ新嘉坡ニ至ル亞細亞大陸沿岸諸港(香港及新嘉坡)ト露領沿海州諸港間	(二十) 八圓零錢
(二十二)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸諸港(カレール以北スタウパン)英國諸港ト和蘭、丁抹、瑞典、諸威(スタウパン北ヲ)諸港間(交戰國船舶及其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(二十一)	ガルタフキ岬以南喜望峰ニ至ル亞細亞東海岸諸港(マダガスカル島及マウリチウス島ヲ含ム)相互間	(二十) 八圓零錢
(二十)	喜望峰以北シアラタル海峽ニ至ル亞細亞東海岸諸港(其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(十九)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸諸港(カレール以北スタウパン)英國諸港ト和蘭、丁抹、瑞典、諸威(スタウパン北ヲ)諸港間(交戰國船舶及其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(十八)	シアラタル以北歐洲大陸沿岸諸港(カレール以北スタウパン)英國諸港ト和蘭、丁抹、瑞典、諸威(スタウパン北ヲ)諸港間(交戰國船舶及其ノ積荷ヲ除ク)	(二十) 八圓零錢
(十七)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十六)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十五)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十四)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十三)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十二)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十一)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(十)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(九)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(八)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(七)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(六)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(五)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(四)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(三)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(二)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢
(一)	同上(喜望峰經由)	(二十) 八圓零錢

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依ル戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

(十六)	(巴奈馬經由) 内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州トカレール以北スタウパンガール歐洲大陸沿岸諸港經由スタウパンガール以北歐洲大陸沿岸諸港間(交戰國船舶及其ノ積荷ヲ除ク)	(二十四) 一圓零錢
(十五)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(十四)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(十三)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(十二)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(十一)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(十)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(九)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(八)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(七)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(六)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(五)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(四)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(三)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(二)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢
(一)	同上(蘇士經由)	(二十四) 一圓零錢

(十七)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(十六)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(十五)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(十四)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(十三)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(十二)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(十一)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(十)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(九)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(八)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(七)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(六)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(五)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(四)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(三)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(二)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢
(一)	同上(喜望峰經由)	(二十四) 一圓零錢

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依ル戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

二一六

馬運河(西印度諸港)間 ヲ含ム)以北亞米利加東海岸諸港(西 印度諸港)間(東經十度以東、北 緯四十度以南)ノ地 中海ニ付テハ)	一圓七十五錢
同上(巴奈馬經由)	七十五錢
營口ヨリ新嘉坡ニ至ル大陸沿岸諸 港(香港、新嘉坡)ト巴奈馬運河(運河ヲ 除ク)以南亞米利加東海岸諸港間(蘇 士經由)(東經十度以東、北緯四十度以南 ノ地中海ニ付テハ船舶ヲ除ク)	二圓
同上(巴奈馬經由)	五十五錢
新嘉坡ヨリ蘇士ニ至ル大陸沿岸諸 港(新嘉坡ヲ除ク)ト巴奈馬運河(蘇 士經由)以南亞米利加東海岸諸港間 (蘇士經由)(東經十度以東、北緯四十度 ヲ除ク)	一圓九十五錢
同上(巴奈馬經由)	七十五錢

諸港(西印度諸港)間 新嘉坡ヨリ蘇士ニ至ル大陸沿岸諸 港(新嘉坡ヲ除ク)ト喜望峯經由巴 奈馬運河(西印度諸港)間 海峽諸港(蘇士經由)間	九十五錢
營口ヨリ新嘉坡ニ至ル大陸沿岸諸 港(香港、新嘉坡)ト喜望峯經由巴奈馬 運河(巴奈馬運河ヲ除ク)以南亞米利加東 海岸諸港間	八十五錢
新嘉坡ヨリ蘇士ニ至ル大陸沿岸諸 港(新嘉坡ヲ除ク)ト喜望峯經由巴 奈馬運河(巴奈馬運河ヲ除ク)以南亞米利加東 海岸諸港間	九十錢

大正三年十一月十六日農商務省告示第三百一十一號但書

一件ノ保險料ニシテ五錢ニ滿タサル場合ニ於テハ前
記ノ制限ニ拘ハラズ五錢迄ヲ徵收スルコトヲ得
船舶ノ保險ニ付テハ前記保險料率ハ一航海(片路)ニ
對スルモノトス

但從前ノ料率ニ比シ料率ノ低下シタルモノニ付テハ
内地ニ在リテハ大正三年十一月十八日以前ニ締結ス
ル契約其ノ他ニ在リテハ大正三年十一月二十二日以
前ニ締結スル契約ニ限り從前ノ定ニヨルコトヲ得
大正三年十一月二十八日農商務省告示第三百二十一號
但書

但第九十五號ニ付テハ内地ニ在リテハ大正三年十一
月三十日以前ニ締結スル契約其ノ他ノ地ニ在リテハ
大正三年十二月四日以前ニ締結スル契約ニ限り從前
ノ定ニ依ルコトヲ得

大正三年十二月十八日農商務省告示第三百三十四號但
書
但シ從前ノ料率ニ比シ料率ノ低下シタルモノニ付テ
ハ内地ニ在リテハ大正三年十二月二十二日以前ニ締
結スル契約、其ノ他ノ地ニ在リテハ大正三年十二月
二十四日以前ニ締結スル契約ニ限り從前ノ定ニヨル
コトヲ得

大正四年十一月四日農商務省告示第二百五十九號但書
但シ料率ニ付テハ内地ニ在リテハ大正四年十一月六

戰時海上保險補償法施行規則第一條ニ依ル戰爭危險ニ對スル海上特別
保險料率指定

二一七

日以前ニ締結スル契約、其ノ他ノ地ニ在リテハ大正
四年十一月十日以前ニ締結スル契約ニ限り從前ノ定
ニ依ルコトヲ得

大正五年一月二十九日農商務省告示第十五號但書
但從前ノ料率ニ比シ其料率ノ低下シタルモノ並東經
十度以東北緯四十度以南ノ地中海ニ付除外セラレタ
ル船舶ニ付テハ内地ニ在リテハ大正五年二月一日以
前其ノ他ノ地ニ在リテハ大正五年二月五日以前ニ限
リ從前ノ例ニ依リ契約ヲ締結スルコトヲ得

大正五年十一月一日農商務省告示第二百二十六號但書
但シ料率ノ低下シタルモノニ付テハ内地ニ在リテハ
大正五年十一月三日以前ニ締結スル契約、其ノ他ノ
地ニ在リテハ大正五年十一月七日以前ニ締結スル契
約ニ限り從前ノ定ニ依ルコトヲ得

大正六年四月十六日農商務省告示第七十一號但書
但シ削除セラレタル航路ニ付テハ内地ニ在リテハ大
正六年四月二十二日以前ニ締結スル契約ニ限り從前
ノ定ニ據ルコトヲ得

戦時海上保険補償法ニ依リテ補償ヲ受クルコトヲ得サル船舶又ハ積荷ニ關スル件

●戦時海上保険補償

法ニ依リテ補償ヲ

受クルコトヲ得サ

ル船舶又ハ積荷ニ

關スル件

大正三年九月二十八日
農商務省令第二十四號

帝國又ハ戰時同盟國ノ捕獲スルコトヲ得ヘキ積荷又ハ船舶若ハ其ノ積荷ニ付テハ補償ヲ受クルコトヲ得ス本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●戦時海上再保險法

大正六年七月二十日
法律第二十號

第一條 政府ハ保險業者カ海上保險契約ニ依リ戰爭ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ノ填補ヲ約シタル場合ニ於テ其ノ損害ノ填補ニ付本法ニ依リ再保險ヲ爲スコトヲ得

前項ノ再保險ハ日本ノ保險業者又ハ外國保險業者ノ日本ニ設ケタル支店、事務所、若ハ代理店カ主務官廳ノ定ムル海上保險率以下ニ於テ爲シタル第一項ノ元受保險契約カ豫定保險ノ方法ニ依リタルモノナルトキハ海上保險料率ニ關シテハ保險ノ各目的ニ付船舶出港ノ時ニ於テ契約シタルモノト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第二條 再保險ノ目的ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

一 日本ニ船籍ヲ有スル船舶

戦時海上再保險法

二 日本ヨリ輸出シ若ハ之ニ輸入スル積荷又ハ前號

ニ掲グル船舶ニ搭載スル積荷

第三條 主務官廳必要ト認ムルトキハ命令ヲ以テ再保險ノ範圍ヲ制限スルコトヲ得

第四條 保險業者カ本法及本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ船舶出港前再保險ノ申込ヲ發シタルトキハ政府

ハ之ヲ承諾シタルモノト看做ス
再保險申込ハ其ノ申込ヲ發シタル日ノ午後十二時ニ之ヲ發シタルモノト推定ス

再保險ノ申込書ニハ申込ヲ發シタル日ヲ記載スヘシ

第五條 再保險金額カ命令ニ依リテ政府ノ引受クヘキ保險金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過シタル部分ニ付テハ再保險ハ無効トス

同一ノ目的ニ付キ同時ニ數箇ノ再保險ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ保險金額ヲ超過スルトキハ保險業者ニ對シテ引受クル金額ハ其ノ各自ノ保險金額ノ割合ニ依ル

第六條 再保險料、再保險金額ノ支拂及豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

戰時海上再保險法

第七條 再保險ニ付テハ商法中保險ニ關スル規定ヲ準用ス但シ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第八條 船舶ニ付政府ノ引受クヘキ保險金額ヲ査定セシムル爲戰時海上再保險審査會ヲ置ク

戰時海上再保險審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ定ム

第九條 保險業者ハ船舶所有者又ハ其ノ法定代理人、代表者若クハ從業者左ニ掲クル行爲ヲ爲シタル場合ニ於テハ保險業者又ハ船舶所有者ヲ五百圓以上五千圓以下ノ過料ニ處ス

一 再保險ノ目的タル要件ヲ具備セサルニ拘ラス惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ之ヲ具備シタルモノトシテ再保險ノ申込ヲ爲シタルトキ

二 第四條ノ再保險ノ申込者ニ虚構ノ日附ヲ記載シテ之ヲ發シタルトキ

三 戰時海上再保險審査會ニ對シ不正ノ文書ヲ提出シ又ハ虚構ノ陳述ヲ爲シタルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

本令施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ム

戰時海上保險補償法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ成立シタル保險契約ニシテ本法施行後五日迄ニ保險ノ責任ヲ生シタルモノニ付テハ仍ホ戰時海上保險補償法ニ依ル其ノ保險契約ニハ本法ヲ適用セス

再保險中及、其ノ申込マシメタル日、年、月、十二日ハ、再保險ノ目的タル要件ヲ具備セサルニ拘ラス、惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ之ヲ具備シタルモノトシテ再保險ノ申込ヲ爲シタルトキ、第四條ノ再保險ノ申込者ニ虚構ノ日附ヲ記載シテ之ヲ發シタルトキ、戰時海上再保險審査會ニ對シ不正ノ文書ヲ提出シ又ハ虚構ノ陳述ヲ爲シタルトキ、非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

●戰時海上再保險法
施行期日

大正六年九月十日
勅令第三百三十三號

戰時海上再保險法ハ大正六年九月二十日ヨリ之ヲ施行ス

●戰時海上再保險法
廢止

大正九年八月七日
法律第五十七號

戰時海上再保險法ハ之ヲ廢止ス

附則

戰時海上保險補償法ニ依ル保險契約及本法施行前ニ成立シタル戰時海上再保險法ニ依ル再保險ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

●戰時海上再保險法施行期日、戰時海上再保險法廢止

●戰時海上再保險法施行期日、戰時海上再保險法廢止

戰時海上再保險法施行期日、戰時海上再保險法廢止

戰時海上再保險法施行ニ關スル件、戰時海上再保險法施行ニ關スル勅令改正 二二二

◎戰時海上再保險法 施行ニ關スル件

大正六年九月十日
勅令第三百三十四號

戰時海上再保險法ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ之ヲ施行ス
關東州ニ於ケル戰時海上再保險ニ關シテハ前項ノ法律
ニ依ル
朝鮮、臺灣、樺太及關東州ニ於ケル戰時海上再保險法
ノ施行ニ關スル主務官廳ハ農商務大臣トス

附則

本令ハ戰時海上再保險法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

戰時海上再保險法 施行ニ關スル勅令 改正

大正九年八月十九日
勅令第二百八十三號

大正九年法律第五十七號ノ附則ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ
之ヲ施行ス

關東州ニ於ケル戰時海上保險補償法ニ依ル保險契約及
戰時海上再保險ニ依ル再保險ニ關シテハ前項ニ掲クル
法律ノ附則ニ依ル

朝鮮、臺灣、樺太及關東州ニ於ケル第一項ニ掲クル法
律ノ附則ノ施行ニ關スル主務官廳ハ農商務大臣トス

附則

本令ハ大正九年法律第五十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行
ス

戰時海上再保險法 ニ依リ取得シタル 物件ノ賣拂ニ關ス ル隨意契約ノ件

大正六年十二月十九日
勅令第二百三十四號

戰時海上再保險法ニ依リ取得シタル物件ノ賣拂ハ隨意
契約ニ依ルトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

戰時海上再保險法ニ依リ取得シタル物件ノ賣拂ニ關スル隨意契約ノ件

◎戰時海上再保險法 施行規則

大正六年八月二十七日
農商務省令第十七號

改正 (一)
大正七年五月二十五日
農商務省令第十八號

第一條 戰時海上再保險法第一條ノ海上保險料率ハ之ヲ告示ス

前項ノ保險料率ニ依リテ保險業者カ徵收スルコトヲ得ヘキ保險料額ト再保險料額トノ差額カ一件ニ付十錢ニ滿タサル場合ニ於テハ保險業者ハ十錢ニ滿ツル迄其ノ保險料額ヲ增加スルコトヲ得

保險業者カ外國ニ於テ保險證書又ハ保險承認狀ヲ作成スルトキハ前二項ニ依リテ徵收スルコトヲ得ヘキ金額ノ外其ノ地ニ於テ必要トスル印紙稅ニ相當スル金額ヲ徵收スルコトヲ得

保險業者ハ前三項ニ規定スル保險料ノ外何等ノ名義

ヲ以テスルヲ問ハス保險契約者ヨリ給付ヲ受ケルコトヲ得ス

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ再保險ノ目的タルコトヲ得ス

一 政府ニ徵用セラレ政府、外國政府、外國人若ハ外國法人ニ貸付シ又ハ之ニ對シ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル船舶但シ輸出入品ノ運送ヲ主タル目的トシ其ノ他公益上必要ト認ムル場合ニ於テ豫メ農商務大臣ノ承認ヲ受ケタル場合ヲ除ク

二 帝國又ハ聯合國ノ捕獲スルコトヲ得ヘキ船舶
三 第一號ノ船舶ニ搭載スル積荷但シ輸出入品ヲ除ク

四 第二號ノ船舶ニ搭載スル積荷

五 帝國又ハ聯合國ノ捕獲スルコトヲ得ヘキ積荷

六 輸出若ハ輸入ヲ禁止スル積荷又ハ對敵取引禁止令ニ違反スル取引ノ目的ト爲リタル積荷

七 農商務大臣カ再保險ノ目的タルコトヲ得サルモノトシテ告示シタル積荷但シ農商務大臣ノ承認

ヲ受ケタルモノヲ除ク

前項第一號但書又ハ第七號但書ノ承認ヲ受ケムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ申請書ニ通テ農商務大臣ニ差出スヘシ

第三條 船舶ニ付戰時海上再保險審査會ノ査定ヲ受ケスシテ再保險ニ付セムトスル場合ニ於ケル政府ノ引受クヘキ保險金額及船舶ノ範圍ハ之ヲ告示ス

前項ノ告示ニ定メタル金額ヲ超エテ再保險ニ付セムトスル船舶ニ付テハ船舶所有者ハ戰時海上再保險審査會ノ査定ヲ受ケルコトヲ要ス前項ノ告示ニ依リテ政府ノ引受クヘキ保險金額ヲ算定スルコトヲ得サル船舶ニ付亦同シ

戰時海上再保險審査會カ第一項ノ告示ニ定メタル金額ヲ下リタル査定ヲ爲シタル船舶ニ付テハ爾後第一項ノ告示ニ依リテ再保險ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ戰時海上再保險審査會ヲシテ船舶ニ付政府ノ引受クヘキ金額ヲ査定セシムルコトヲ得

第五條 戰時海上再保險審査會ノ査定額ハ第三條第一

戰時海上再保險法施行規則

項ノ告示ニ定メタル金額ノ變更スル毎ニ其ノ査定ノ時ニ於ケル第三條第一項ノ告示ニ定メタル金額カ再保險ノ申込ヲ爲ス時ニ於ケル其ノ金額ニ對スル割合ニ依リ變更シタルモノトス

第三條第一項ノ告示ニ依リテ政府ノ引受クヘキ金額ヲ算定スルコトヲ得サル船舶ノ査定額ハ第三條第一項ノ告示ニ定メタル金額ノ變更スル毎ニ農商務大臣ノ定ムル割合ニ依リテ變更シタルモノトス

第六條 戰時海上再保險審査會ノ査定ヲ受ケタル船舶ニ付テハ其ノ査定額ヲ限度トシテ之ヲ再保險ニ付スルコトヲ得

査定額ハ査定ノ日ヨリ起算シ一年內ニ再保險ノ申込ヲ爲シ且船舶カ出港ヲ爲ス場合ニ於テノ其ノ効力ヲ有ス但シ帝國若ハ聯合國ノ官憲ノ命令又ハ不可抗力ニ因リテ出港スルコト能ハサリシ場合ニ於テハ其ノ出港スルコトヲ得ルニ至リタル日迄其ノ効力ヲ有ス

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リテ効力ヲ有スル査定額ニ付將來ノ申込ニ對シテ其ノ効

力ヲ停止スルコトヲ得

第七條 船舶ノ再保險金額ハ船舶ノ價額、運送貨、貨付料其ノ他被保險利益ノ何タルヲ問ハス其ノ金額ヲ合シテ前四條ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ス

第八條 船舶ノ再保險ニ付其ノ申込ト共ニ戰時海上再保險審査會ノ査定ヲ請求シ又ハ其ノ査定ノ請求中ニ其ノ申込ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ申込書ニ再保險金額ヲ記載セサルトキハ其ノ査定額ヲ、其ノ申込書ニ再保險金額ヲ記載シタル場合ニ於テ其ノ査定額カ其ノ記載ノ金額ヨリ高キトキハ其ノ金額ヲ、低キトキハ其ノ査定額ヲ再保險金額ト爲シタルモノトス
前項ノ規定ニ依リテ申込ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ申込書ニ記載スルコトヲ要ス

第一項ノ場合ニ於テ戰時海上再保險審査會ノ査定ヲ了ル迄ニ戰爭ニ因ル損害ヲ生シタルコトヲ知りタルトキハ左ノ金額ヲ再保險金額ト爲シタルモノトス但シ其ノ金額ナキ場合ニ付テハ再保險ヲ爲ササリシモノトス
一 前ニ査定ヲ受ケタル金額ニ付第一項ノ申込ノ際

再保險ニ付スルコトヲ得ヘカリシトキハ其ノ査定額

二 前號ノ査定額ナキトキハ第一條第一項ノ告示ニ定メタル金額

第九條 積荷ノ再保險ハ其ノ普通海上保險契約ニ於ケル保險金額ノ範圍内ニ於テ其ノ航路ト同一ノ航路ニ非サレハ其ノ效力ヲ有セス但シ第十一條第三項ノ規定ニ依リテ再保險ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラフ
普通海上保險契約カ航路ノ變更ニ因リテ其ノ效力ヲ失ヒタルトキト雖再保險ハ其ノ效力ヲ有ス

第十條 積荷ノ再保險金額ハ積荷ノ價額其ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益又ハ報酬其ノ他被保險利益ノ何タルヲ問ハス船積ノ地及時ニ於ケル積荷ノ價額並船積及保險ニ關スル費用ノ總額ニ其ノ三割ヲ加ヘタル額ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ積荷ニ付仕入書アルトキハ之ニ記載シタル金額ヲ以テ船積ノ地及時ニ於ケル積荷ノ價額並船積及保險ニ關スル費用ノ總額ト推定ス

積荷ノ運送貨ハ第一項ノ金額ニ加算シテ之ヲ再保險

ニ付スルコトヲ得

第十一條 再保險ハ船舶ニ付テハ一航海(片路)、積荷ニ付テハ船積港ヨリ陸揚港ニ至ル航路ニ限り且其ノ全部ニ付テノミ之ヲ爲ス

船舶ノ再保險ハ豫メ農商務大臣ニ於テ承認ヲ爲シタル場合ニ限り「一定ノ期間又ハ」一定ノ期間ニ於テ爲ス數航海ニ付之ヲ爲スコトヲ得「其ノ一定ノ期間ニ於テ爲ス數航海ニ付再保險ヲ爲シタル場合」ニ於テ其ノ期間カ航海中ニ滿了シタルトキハ再保險ハ其ノ航海ヲ終ル迄其ノ効力ヲ有スルモノトス

第十八條但書ノ規定ニ該當セサル航路變更ノ場合ニ於テハ第一項ノ規定ニ拘ラス現ニ存スル再保險金額ノ範圍内ニ於テ其ノ新ナル航路ニ付再保險ヲ爲スコトヲ得

第二條第一項第一號但書ノ場合ニ於テ農商務大臣カ再保險ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ承認シタル航路ノ航海ヲ一航海ト看做ス第二條第二項ノ規定ハ第二項ノ承認ヲ受ケムトスル場合ニ之ヲ準用ス

*註 大六審令一七「此ノ場合」

第十一條ノ二 船舶ノ再保險ハ元受保險契約カ航海ニ付爲サレタルモノナルトキハ航海ニ付、一定ノ期間ニ付爲サレタルモノナルトキハ期間ニ付テノミ之ヲ爲ス

第十二條 政府ハ一切ノ戰爭危險ニ因リテ生スルコトアルヘキ一切ノ損害ヲ填補スルコトヲ約シタル元受保險契約ニ非サレハ其ノ再保險ヲ爲サス

保險業者ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ依リテ再保險カ解除セラレ若ハ其ノ効力ヲ失ヒタル場合又ハ其ノ無効ナル場合ニ於テ其ノ元受保險契約ヲ解除シ其ノ効力ヲ失ハシメ又ハ之ヲ無効トスル旨ノ特約ヲ爲シタル元受保險契約ハ之ヲ再保險ニ付スルコトヲ得ス

第十三條 保險業者カ普通保險約款ニ政府ノ再保險ノ責任ヨリ輕キ責任ヲ負擔スルコトヲ定ムル規定又ハ商法第六百五十九條及第六百六十條ノ責任ヲ制限スル規定ノ適用ナキ旨ノ特約ヲ付シテ元受保險契約ヲ爲シタルトキハ之ヲ再保險ニ付スルコトヲ得但シ普通保險約款中委付ニ關シ商法第六百七十一條ノ規定

ト異リタル規定アルトキハ政府ノ責任モ亦其ノ規定ニ依リテ其ノ範圍ヲ定ム

第十四條 政府ノ再保險ノ責任カ始マル前ニ於テハ保險業者ハ再保險ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ解除ハ通知書ヲ以テ爲スコトヲ要ス保險業者カ再保險ヲ解除シタル元受保險契約ハ之ヲ再保險ニ付スルコトヲ得ス

第十五條 左ノ場合ニ於テハ政府ハ再保險ノ全部又ハ一部ヲ解除スルコトヲ得

一 再保險カ戰時海上再保險法第九條第二號又ハ第三號ニ該當スル行爲ニ基キタルトキ

二 農商務大臣ノ承諾又ハ承認ヲ受クルニ付不實ノ事ヲ告ケ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三 第二條第一項又ハ第十一條第二項ノ承認ノ條件ニ違反シタルトキ

四 豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ニ付保險業者カ法令又ハ承諾ノ條件ニ違反シタルトキ

前項第三號第四號ノ解除ハ將來ニ向テノミ其ノ效力

ヲ生ス

前條第二項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 再保險ノ各目的カ其ノ要件ヲ具備セサルニ至リタルトキハ再保險ハ其ノ效力ヲ失フ但シ政府ノ責任ノ始マリタル後ニ於テ第三條第一項第六號又ハ第七號ニ該當スルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 左ノ場合ニ於テハ政府ハ損害ヲ填補スル責ニ任セス

一 損害カ再保險ノ成立前ニ生シタルモノナルトキ

二 元受保險契約ノ戰時海上保險料カ不明ナルトキ

三 第二十二條第三項ノ申込明細書又ハ第二十六條ノ通知書ヲ發送スルコトヲ怠リタルトキ

四 豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ニ付農商務大臣ノ定メタル承諾ノ條件ニ違反シタルトキ

五 元受保險業者ノ保險金ノ支拂力對敵取引禁止令ニ違反スルモノナルトキ

六 帝國又ハ聯合國ノ官憲ノ戰爭危險ニ關スル命令其ノ他ノ指圖ニ違反シテ航海ヲ爲シタル場合ニ船舶ニ付損害カ生シタルトキ

七 第二十六條ノ通知書ノ記載カ第二十七條ノ帳簿

ノ記載ニ一致セサル場合ニ於テ惡意又ハ重大ナル過失アリト認メタルトキ

八 損害カ帝國又ハ聯合國ノ抑留ニ因リテ生シタルトキ

九 保險業者カ損害填補ノ義務ノ全部又ハ一部ヲ免レタルトキ

十 第二條第一項又ハ第十一條第二項ノ承認ノ條件ニ違反シタルトキ

第十八條 政府ハ「期間再保險ヲ爲シタル場合ニハ豫定ノ區域外其ノ他ノ場合ニハ豫定ノ航路外」ニ於テ生シタル損害ヲ填補スル責ニ任セス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 帝國又ハ聯合國ノ「官憲ノ戰爭危險ニ關スル命令」又ハ不可抗力ニ因リテ航路ヲ變更シタル場合

二 船長カ戰爭ノ危險ヲ免レル爲必要ト認メテ航路ヲ變更シタル場合

三 積荷ノ再保險ニ付テハ前二號ノ外其ノ航路ノ變更

戰時海上再保險法施行規則

更カ元受保險契約ノ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ生シタル場合

合

*註 大六省令一七「豫定ノ航路外」
*註 大六省令一七「官憲ノ命令」

第十九條 政府ハ一件百圓未満ノ金額ノ再保險ヲ爲サス但シ豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

外國貨幣ヲ以テ再保險金額ヲ定メタル場合ニ於ケル前項ノ規定ノ適用ニ付テハ第二十條第一項ノ換算率ニ依ル

第二十條 農商務大臣ハ再保險料ノ計算ニ用フル外國貨幣ノ換算率ヲ定メ之ヲ告示ス

前項ノ場合ニ於テ保險業者ハ其ノ元受保險契約ノ保險料ノ計算ニ付前項ノ換算率ニ依ルコトヲ妨ケス

保險業者カ外國貨幣ヲ以テ元受保險金ノ支拂ヲ爲シタル後再保險金ノ支拂ヲ請求シタルトキハ政府ハ元受保險金ノ支拂ヲ爲シタル日ニ於ケル爲替相場ニ依リテ再保險金ヲ計算シ之ヲ支拂フ

第二十一條 再保險ノ申込ハ他人ノ爲シタル元受保險契約ニ付テハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條 戰時海上再保險法第四條ノ申込ハ第一號様式ノ申込書ニ依ルコトヲ要ス

前項ノ申込書ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ内容確定セサルモノアルトキハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外戰時海上再保險法第四條ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス
保險業者ハ第一項ノ申込書ヲ發送シタル後積荷ニ付テハ五日內ニ農商務大臣ニ對シテ第二號様式ノ申込明細書ヲ發送スヘシ但シ帝國又ハ聯合國ノ官憲ノ命令又ハ不可抗力ニ因リテ之ヲ發送スルコト能ハサリシ場合ニ於テハ之ヲ發送スルコトヲ得ルニ至リタル最初ノ日ニ於テ之ヲ發送スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附スヘシ
△前項ノ申込明細書ハ申込書別ニ之ヲ作成スルコトヲ要ス

元受保險契約ノ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカフサル事由ニ因リテ申込書ニ記載シタル船舶カ再保險ノ目的タル積荷ヲ積殘シタル場合ニ於テハ其

後ニ於ケル最初ノ寄航港ニ至ル迄ノ航路ノ全部ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條 豫定保險ノ方法ニ依リテ再保險ニ付セムトスルトキハ豫定保險ニ依ル元受保險契約ト之ニ依ラサル元受保險契約トヲ區別シ各別ニ二通ノ書面ヲ以テ申込ヲ爲シ農商務大臣ノ承諾ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ農商務大臣之ヲ承諾スルトキハ其ノ書面ノ一通ニ其ノ旨ヲ記載シ之ヲ申込者ニ交付ス
第二十六條 豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ノ場合ニ於テハ保險業者ハ承諾ノ條件ニ從ヒ第三號様式ノ通知書ヲ發送スルコトヲ要ス

第二十七條 再保險ニ付テハ保險業者ハ特別ノ帳簿ヲ備ヘ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 元受保險證券若ハ元受保險承認狀アルトキハ其ノ番號又ハ再保險ノ目的及數量
- 二 出港ノ豫定日及出港ノ日並積荷ニ付テハ其ノ搭載船舶ノ名稱、期間再保險ニ付テハ元受保險期間及再保險期間

ノ再保險ノ申込ハ其ノ效力ヲ失ハス此ノ場合ニ於テ保險業者其ノ積殘シ事實及其ノ船積ヲ知りタルトキハ運滯ナク之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

*註 大六省令一七一第一項ノ申込書ハ船舶別及航路別ニ之ヲ作成シ

第二十三條 船舶 出港ノ豫定日時前ニ出港シタル場合ニ於テ保險業者其ノ事實ヲ知ラサリシトキハ其ノ豫定日時迄前條ノ申込書ヲ發送スルコトヲ得出港前十二時間以內ニ又ハ出港後ニ其ノ事實ヲ知リタルトキハ之ヲ知リタル時ヨリ十二時間以內ニ付亦同シ但シ此ノ場合ニ於テモ其ノ豫定日時ヲ過クルコトヲ得ス
前項ノ規定ハ船舶カ豫定日時前ニ出港シタルコトヲ知ラサリシコトニ付保險業者ニ過失アル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十四條 第十一條第三項ノ再保險ノ申込ハ新ナル航路ノ航海ノ始マル前ニ於ケル最終ノ寄航又ハ新ナル航路ノ航海ノ始マリタル後ニ於ケル最初ノ寄航港ノ出航前ニ其ノ港ヨリ新ナル航路ノ航海ヲ終リタル

三 船舶ニ付テハ發航港、到達港及寄航港、積荷ニ付テハ船積港、陸揚港、寄航港及積換港ノ期間

再保險ニ付テハ元受保險契約及再保險ノ區域

四 元受保險金額、其ノ保險料及元受保險契約ノ年月日並第二十八條第二號但書ノ場合ニ在リテハ其ノ旨

五 再保險金額

六 再保險申込ノ日、其ノ申込書ノ番號及申込明細書ヲ發送シタル日又ハ前條ノ通知書ヲ發送シタル日及其ノ通知書ノ番號

前項ノ帳簿ハ船舶ト積荷トニ付各別ニ戰時海上再保險法第四條ニ依ル再保險及豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ニ付テ之ヲ調製スルコトヲ要ス

第二十八條 再保險料ハ再保險ノ申込ヲ發シタル日又ハ豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ノ場合ニ在リテハ其ノ元受保險契約ノ日ニ於ケル戰時海上再保險法第一條ノ海上保險料率ヲ以テ算定シタル保險料額ニ對スル左ノ割合ニ依ル

- 一 船舶九割五分

二 積荷九割但シ外國ニ於ケル代理店カ元受保險契約ヲ爲シ又ハ其ノ元受保險契約カ豫定保險ナル場合ニ於テ保險承認狀ヲ發行スルトキハ八割五分

第一條第二項第三項ノ規定ニ依リテ増徴スルコトヲ得ヘキ金額ハ前項ノ計算ニハ之ヲ算入セス

第二十九條 再保險料ハ申込書又ハ第二十六條ノ通知書ノ記載ニ依リテ算定シ之ヲ徵收ス

政府ノ責任ノ始マル前ニ再保險力其ノ效力ヲ失ヒ又ハ解除セラレタル場合ニ限リ其ノ再保險料ハ之ヲ徵收セス但シ政府力再保險ヲ解除シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

豫定保險ノ方法ニ依ル再保險ノ場合ニ於テ第二十六條ノ通知書ヲ發送セサルモノアルトキハ其ノ通知書ヲ發送スヘカリシ再保險金額ニ依リテ其ノ再保險料ヲ算定シ之ヲ徵收ス

第三十條 再保險料ハ一月毎ニ其ノ末日迄ニ到達シタル申込書又ハ第二十六條ノ通知書ニ依リテ計算シ之ヲ徵收ス

ルコトヲ證スル書類

六 積荷ノ再保險ニ付テハ船荷證券及仕入書又ハ之ニ代ルヘキ書類アルトキハ其ノ書類

七 同一ノ目的ニ付損害發生ノ當時ニ於テ保險者ノ責任ノ存スル元受保險契約ノ保險金額ノ總額ヲ記載シタル書類

前項第七號ノ適用ニ付テハ損害發生以後ニ元受保險契約ノ全部又ハ一部ヲ解除シタルトキト雖其ノ金額ヲ算入スルコトヲ要ス

第一項ノ書類ノ外農商務大臣ハ必要ト認ムル書類ヲ差出サシムルコトヲ得

第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ書類ニ付テハ其ノ寫ヲ差出スコトヲ得之ヲ差出シタルトキハ相當ノ期間内ニ其ノ原本ヲ差出スコトヲ要ス

保險業者元受保險金ノ支拂ヲ爲ス前ニ政府ヨリ再保險金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ元受保險金ノ支拂ヲ爲シ遲滞ナク其ノ領收書ヲ差出スヘシ

第三十三條 再保險ニ關シテハ政府ハ利息ヲ支拂フコトナシ

前條第三項ノ場合ニ於テハ再保險料ハ其ノ通知書ヲ發送セサリシコトヲ發見シタル都度之ヲ徵收ス

再保險料ニ關シ政府ヨリ返還ヲ受クヘキ金額アルトキハ保險業者ハ其ノ事由ヲ具シ返還請求書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第三十一條 保險業者ハ再保險ノ目的ニ付損害ノ生シタルコトヲ知リタルトキハ其ノ損害力戰爭ニ因リテ生セサリシ場合ト雖遲滞ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第三十二條 再保險金支拂請求書ニハ左ノ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

一 損害ヲ證スル書類

二 元受保險契約ノ保契證券又ハ之ニ代ルヘキ書類

三 元受保險金ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ之ヲ證スル書類

四 同一ノ目的ニ付他ニ再保險アルトキハ再保險者

保險金額、契約ノ年月日及其ノ再保險ニ因リテ

收受スヘキ金額ヲ記載シタル書類

五 積荷ノ再保險ニ付テハ普通海上保險契約アリタ

第三十四條

戰時海上再保險審査會ノ査定ヲ請求セムトスル者ハ請求書ニ左ノ事項ヲ記載シ之ヲ戰時海上

再保險審査會ニ差出スヘシ

一 船舶ノ種類、名稱、船籍港及總噸數

二 新造價格、買入價格及買入年月

三 船體ノ製造地、製造者及進水年月

四 汽機及汽罐ノ製造地、製造者及製造年月

五 請求者ニ於テ一定ノ金額迄ノ査定ヲ以テ足レリトスル場合ニ在リテハ其ノ金額

六 普通海上保險契約又ハ戰時海上保險契約アルト

キハ其ノ保險金額及保險金額ノ最高制限額ノ定

アルトキハ其ノ金額

七 載貨重量噸數及航海速力

八 武裝及無線電信ノ裝置

九 前ニ査定ヲ受ケタルコトアルトキハ其ノ査定額

及其ノ査定ノ年月日

十 船舶検査證書又ハ假船舶検査證書發給ノ日以後

ニ船舶ニ著シキ變更ヲ生シタルトキハ之ニ關ス

ル事項

戰時海上再保險法施行規則

十一 船舶ノ所在地

前項ノ請求書ニハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書及船舶検査書又ハ假船舶検査證書ノ寫ヲ添附スヘシ
第一項ノ請求書ニハ船舶一隻毎ニ左ノ各號ノ料金ニ相當スル收入印紙ヲ貼附スヘシ

一 總噸數三千噸未満ノ船舶 百圓

二 總噸數三千噸以上六千噸未満ノ船舶 二百圓

三 總噸數六千噸以上ノ船舶 三百圓

戰時海上再保險審査會必要ト認ムルトキハ第一項及第二項ニ掲クルモノ外他ノ書類ヲ差出サシメ又ハ請求者ノ出頭ヲ求ムルコトヲ得

第三十五條 戰時海上再保險審査會ハ各月十日迄ニ前條ノ請求書ヲ差出シタルモノニ付テハ其ノ月ノ二十五日迄ニ、二十五日迄ニ之ヲ差出シタルモノニ付テハ翌月十日迄ニ其ノ査定額ヲ請求者ニ通告スルモノトス但シ十日若ハ二十五日又ハ其ノ日及次日力大祭日ノ日曜日其ノ他ノ休日ナルトキハ通告ノ期日ヲ繰下ク

前條第一項又ハ第二項ノ書類不備ナルトキ若ハ前條

二三四

第四項ノ規定ニ從ヒ書類ヲ差出サス若ハ出頭セサルトキ又ハ實地調査ヲ必要ト認ムルトキハ審査終了ノ都度其ノ結果ヲ通告ス

第三十六條 第三十四條ノ規定ヲ請求シタル者其ノ請求中ニ其ノ船舶ニ付損害ノ生シタルコトヲ知りタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ戰時海上再保險審査會ニ報告スヘシ

第三十七條 戰時海上再保險審査會必要ト認ムルトキハ第三十四條ノ規定ニ依リ査定ヲ請求シタル者ヲシテ指定シタル港ニ船舶ヲ回航セシムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ請求者ハ事由ヲ具シ旅費其ノ他一切ノ費用ヲ負擔シテ指定港以外ノ港ニ於テ調査ヲ受クヘキコトヲ出願スルコトヲ得

第三十八條 商法第三百八十九條、第四百條、第四百三條、第四百八條、第四百九條及第四百十一條ノ規定ハ再保險ニ準用セス

第三十九條 保險業者カ取締役、支配人又ハ日本ニ於ケル代表者ニ非サル者ヲシテ自己ニ代リ農商務大臣ニ對シ再保險ニ關スル手續ヲ爲サシメムトスルトキ

ハ申請書ニ其ノ代理權ヲ證スル書類ヲ添附シ豫メ農商務大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第四十條 再保險ニ關シ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ニシテ日本文ヲ以テ記載セサルモノハ之ニ其ノ譯文ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ戰時海上再保險審査會ニ差出スヘキ書類ニ之ヲ準用ス

附則

第一條 本則ハ戰時海上再保險法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 再保險ノ目的ニ付戰時海上保險補償法ニ依ル保險契約アルトキハ再保險金額ハ政府ノ引受クヘキ保險金額ヨリ其ノ保險金額ヲ控除シタル殘額トス
第三條 本則施行ノ際既ニ航海ヲ始メタル船舶又ハ積荷ニ付テハ第十一條第一項ノ規定ニ依ラス現ニ寄航中ノ港又ハ次ノ寄航港以後ノ航海ノ全部ニ付再保險ヲ爲ス

第四條 戰時海上再保險法施行ノ際現ニ戰時海上保險補償法ニ依リ外國ニ於テ爲シタル積荷ニ關スル豫定

戰時海上再保險法施行規則

保險契約アル場合ニ於テ其ノ當事者カ其ノ豫定保險契約ニ定メタル條項ト同一ノ條件ニ依リ積荷ニ付元受豫定保險契約ヲ左ノ地ニ於テ締結シタルトキハ其ノ條件中本則ノ規定ニ適合セサルモノアルトキト雖本則施行後左ノ期間内ニ限り之ヲ再保險ニ付スルコトヲ得但シ元受保險料ハ船舶出港ノ時ニ於ケル第一條第一項ノ告示ニ定メタル金額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 歐洲、濠洲 六十日

二 南亞米利加、英領印度 四十日

第五條 再保險申込書、申込明細書及第二十六條ノ通知書ヲ外國ヨリ發送スル場合ニ於テハ前條各號ノ地ニ付テハ其ノ期間内、其ノ他ノ外國ニ付テハ本則施行後三十日以内ニ限り本則ニ定メタル様式ニ依ルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テモ其ノ様式ニ定メタル事項ハ之ヲ記載スルコトヲ要ス
第二十六條ノ通知書ニ記載スヘキ事項ニ付前條ノ元受豫定保險契約ニ定メタル確定通知ニ依リ保險業者カ知ルコトヲ得サル事項アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要セス

番 號(地名)第 號		社(支店、出張所又ハ代理店名)	
宛 名		會社代表者(又ハ代理人) 氏 名(印)	
(船 舶)		戰時海上再保險法第四條ノ再保險申込書	
船舶ノ種類及名稱			
申込書發送年月日		元保 保險金額	
再 保 險 金 額		受 險 契 約 年 月 日	
發 航 港		船 舶 所 有 者	
到 達 港		出 港 豫 定 年 月 日	
寄 航 港			
總 噸 數			
進 水 ノ 年 月			

様式第一號乙

備考

- 一 様式第一號甲ノ備考第一號乃至第三號、第五號及第六號ヲ參照スヘシ
- 二 進水ノ年月又ハ出港豫定年月日不明ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ
- 三 申込書ハ一隻毎ニ之ヲ作成スヘシ

番 號(地名)第 號		社(支店、出張所又ハ代理店名)	
宛 名		會社代表者(又ハ代理人) 氏 名(印)	
(期 間)		戰時海上再保險法第四條ノ再保險申込書	
船舶ノ名稱		船 舶 所 有 者	
申 込 月 日		元 受 保 險	
再 保 險 金 額		保 險 金 額	
總 噸 數		契 約 年 月 日	
進 水 ノ 年 月		保 險 ノ 期 間 及 期 間 再 保 險 再 其 保 險 ノ 期 間 再 其 保 險	
區 域			

様式第一號丙

備考

- 一 本様式ニ依ル申込書ノ番號ハ他ノ様式ニ依ル申込書ノ番號トシテ區別シ發送地別ニ其ノ順序ヲ逐フヘシ
- 二 様式第一號甲ノ備考第一號、第三號及様式第一號乙ノ備考第二號、第三號ヲ參照スヘシ
- 三 區域ハ本則第一條第一項ニ依ル告示ノ區域番號ヲ以テ之ヲ示スヘシ